

物質創成科学研究科

Graduate School of Materials Science

学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則



Student Handbook 2015 Materials Science



奈良先端科学技術大学院大学
Nara Institute of Science and Technology

平成27年度 カレンダー

4 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
		2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1 2016
H28

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 2016
H28

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

3 2016
H28

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

Note: This is English translation of the Ethical Regulations for NAIST Information Network Use, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of Ethical Regulations for NAIST Information Network Use and it should not be regarded as official regulations.

Article 1 (Purpose)

These regulations have been created to prevent actions that may violate communication privacy, human rights, or intellectual property rights, actions of moral misconduct, and those actions that may interfere with proper operation during the use of NAIST's information network. In addition, they have been created to ensure smooth operation of the information network system and contribute to the improvement of its management, supervision and role in education and research.

Article 2 (Definitions)

- (1) The "Information Network System" refers to the facilities for the management and operation of the information network, the computers connected to this network, equipment related to the network, and the software used on it.
- (2) "Users" refers to NAIST directors, staff, faculty, students and those engaged technical, administrative, research, or educational activities, who use NAIST's information system.
- (3) "System administrator" refers to the director of the Information Initiative Center and those involved with administration and management of the information network system.

Article 3 (Restrictions of Use)

The information network system is to be solely used for the purposes of education, research and university administration and management.

Article 4 (Network Rules)

Users recognize that the Information Network System can have strong and broad effects on society and, in order to ensure the smooth and proper operation of the network, agree to abide by the following rules. In using the internet, the user must handle all information, personal and otherwise, attained through the system properly.

- (1) Do not violate the personal communication of others.

- (2) Do not violate the rights or privacy of others.
- (3) Do not violate copyrights or intellectual property rights.
- (4) Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
- (5) Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
- (6) Only access the Information Network System within the authorized limits.
- (7) Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
- (8) Do not use the Information Network System for personal profit.
- (9) Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
- (10) Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

Article 5 (System Administrator Duties)

The system administrator will alert all users of these regulations and the rules within, while promoting moral awareness concerning information network system usage.

- (2) The system administrator may take measures such as canceling access to the Information Network System of those individuals who violate or are in violation of these regulations or any of the rules within.

Article 6 (Network Investigation)

Upon discovering acts or computers in violation of the rules in article 4, report this to the Information Initiative Center. (Herein referred to as “Center”)

- (2) After investigating possible violations and finding violations of the rules in article 4, the Center will notify the university president and the dean of the violator’s graduate school of the investigation results.
- (3) In the case where a violation involves areas under the administration of a university committee, the Center will also notify the appropriate committee of the investigation results.
- (4) In performing the investigation in (2), the Center will perform an impartial interview of the possible violation and those involved, taking care to respect their respective privacy, rights, and reputation.

Article 7 (Disciplinary Actions)

After receiving a report of the investigation in Article 6-(2) and after following the appropriate procedures, the university president will decide strict disciplinary actions appropriate to the severity of the violation.

Article 8 (Miscellaneous Provisions)

Provisions and rules in addition to those stated in these regulations will be established concerning information network usage.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2011.

全学情報環境システムの運用方針

— 2014年度版 —

総合情報基盤センター

総合情報基盤センターでは本センターが管理運用する全学情報環境システムについて、2014年度は以下のような指針に基づいて運用を行う。

(アカウントについて)

1. 総合情報基盤センター保有システムのアカウント (以下、曼陀羅アカウント) について総合情報基盤センターでは以下の条件を満足する場合にのみ、曼陀羅アカウントを発行する。アカウントは本人のみの使用を許可しており、他人への貸与を禁止する。
 - 本学教職員
 - 本学学生
 - 本学役員
 - 本学が契約している派遣会社からの派遣職員
 - 本学によって受け入れが認められている外部研究員
 - 運用管理上必要となるアカウント
 - その他総合情報基盤センター長が認めるもの
2. 曼陀羅アカウントの失効について
異動、退職等により本学を離れると同時に曼陀羅アカウントは失効する。曼陀羅アカウントの失効とは、該当アカウントで曼陀羅システムに login できなくなり、メールアカウントが無効となることである。ただし、メールの転送設定は、本学を離れてから3ヶ月間有効である。
3. 各研究室購入機器におけるアカウント (以下、研究室アカウント) について以下の手順で各研究室がアカウント作成を行うこと
 - UNIX マシン上で研究室アカウントを作成する際は本学環境内での UID , GID の衝突を避けるため総合情報基盤センターまで連絡すること。
 - 基本的に研究室アカウントは各研究室が管理すること。

- 曼陀羅アカウントを持っているものは、全学ファイルサーバ上のホームディレクトリを利用してよい。それ以外の研究室アカウントのホームディレクトリは各研究室で用意すること。
4. 全学情報環境システムの各システムにおける super user アカウント (Microsoft Windows については Administrator) は総合情報基盤センターが認めた利用者だけに開放する。
 - 研究遂行上、必要と認められる場合には super user アカウント (または Administrator) を開放する。その際、運用管理上の問題が発生しないように利用者と運用管理についての打ち合わせを十分行い注意喚起すること。
 - それ以外の場合には、基本的に super user (または Administrator) のアカウントは公開しない。
 5. 曼陀羅アカウントの停止について
 - 奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理規程に違反した場合、割り当てた曼陀羅アカウントを停止する。

(個人情報保護について)

6. 利用者に対する個人情報保護に関わる方針を以下のとおり定める。
 - 研究上若しくは職務上で知りえた一切の個人情報は、生涯にわたり第三者に故意または過失によって提供、漏洩しないこと。
 - 個人情報の取り扱いは、研究若しくは職務の遂行上正当な理由の場合に限定して行うこと。
 - 研究上若しくは職務上不必要となった個人情報については、完全に破棄または消去すること。
 - 万一、個人情報が提供、漏洩するような事が発生した場合は、本学規約に基づき処理されるものとする。
7. 総合情報基盤センターでは、保持する個人情報をその利用目的に限り使用する。総合情報基盤センターが保持する個人情報及びその利用目的は、以下の通りである。
 - 総合情報基盤センターが保持する個人情報
 - － 曼陀羅アカウントを所持する本人を特定できる個人情報ファイル
この個人情報ファイルに含まれる情報は、氏名・所属・曼陀羅アカウント名・曼陀羅アカウントの有効期間・システムへの設定パラメータである。
 - 利用目的
 - － 曼陀羅アカウントの発行および失効

- システムの利用状況などの調査
- 総合情報基盤センターの円滑な運用

但し、この方針の中でいう個人情報及び個人情報ファイルとは、本学個人情報管理規程第3条で定義されたものをいう。

(全学情報環境システム上のデータについて)

8. 全学情報環境システム上のデータは、全て本学に帰属する。

(総合情報基盤センターから提供される機材について)

9. 総合情報基盤センター保有システムのハードウェアの増設・改変は認めない(付属機器等の接続変更を含む)。
10. 個人常用ワークステーションの本体電源は常に ON の状態にしておくこと (Microsoft Windows, Mac OS で動作するマシンを含む)。
11. 全ての個人常用ワークステーションの勝手な移動は認めない。
 - 同一の部屋内での移動であっても、ネットワークの切断が発生するような移動の場合は必ず利用者に正しい手続きにより連絡させること。
12. 個人常用ワークステーションのローカルディスク領域は各利用者には提供しない。
13. ファイルサーバのホームディレクトリ領域および 500GB 以下のプロジェクトディスク領域のバックアップは総合情報基盤センターが定期的に行う。
14. ファイルサーバのディスクの割り当ては当面、教員 200GB、学生 100GB とし、必要に応じて割当領域を変更する。
 - 割当領域の変更は、要求ベースで判断する。
 - 全てのディスク空き領域を、各研究室やユーザに対して事前に割り当てることは行わない。足りなくなった時点で割り当てるという方針で行う。

(ネットワーク接続について)

15. ネットワーク接続に当たっては総合情報基盤センターに対してどのような機器を接続するかといった説明を必ず行わせること。ネットワーク運用上障害が予想される場合には、接続を許可しない。

16. IP address 等については総合情報基盤センターに申請を行わせ、正式なアドレスを入手させること。
17. 研究室購入の設備を学内ネットワークに接続する場合、接続に必要な機器・器材はすべて研究室側で用意させること（ケーブルを含む）。

(消耗品の管理について)

18. システム運用上発生する消耗品については、各研究科、各部局が消耗品の発注・支払を行うこと。
19. 各フロアのプリンタ消耗品(トナー、ドラム、用紙など)の補充・交換作業は、利用者が行うこと。またこれらの在庫は、各研究科、各部局が管理すること。

(メンテナンスについて)

20. 全学情報環境システムに不具合が生じ、緊急に対処する必要がない場合は、水曜日午前にシステムを停止して、復旧作業を行うこと。このとき、約1週間前に電子メールにて、事前周知を行うこと。
21. 全学情報環境システムに緊急を要する不具合が生じた場合は、各部局への連絡を行った後、システムを直ちに停止し、復旧作業を行うこと。

(その他)

22. 小規模計算サーバシステム、情報科学研究システム、バイオ情報処理システム、物質創成科学情報処理システム、物質創成研究システムなどの研究系設備については、必要に応じて主たる利用者と共同運用すること。
23. 原則として、異動・退職者の曼陀羅アカウントは即座に失効させること。曼陀羅アカウント失効後、ホームディレクトリ上のデータは消去すること。
24. 全学情報環境システムの機器の破損・盗難が発生した場合には、利用者と総合情報基盤センターが誠意を持って相談の上、解決すること。
25. 全学情報環境システムのマニュアルは総合情報基盤センターが管理・保管すること。利用者がマニュアルを必要な場合、提供すること。

MANDARA Operation Policy (ver.2012)

Information Initiative Center of NAIST

Note: This is English translation of the MANDARA Operation Policy, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of MANDARA Operation Policy and it should not be regarded as official regulations.

MANDARA Account

1. ITC (Information iniTiative Center) issues MANDARA System user accounts for the following types of users. Users who is issued MANDARA account must not lend it to other people.

: (“MANDARA” is the university system at NAIST)

- University executives
 - Faculty members, staff and students in NAIST
 - Temporary employees who have made a contract with the finance division of the University.
 - Researchers who are authorized by the University Office
 - Any other people who are approved by the chair of ITC
2. MANDARA Account Expiration
 - Your MANDARA account will be considered expired if you are no longer employed or officially affiliated with NAIST. In the case of an expired account, you will not be able to login to the system and your mail account will be voided. You will still be able to transfer you mail for up to 3 months from the date of expiry.
 3. User account settings in laboratory equipment

Please create your user account using the following procedure:

 - If you create user account on UNIX system, you must contact ITC. This is necessary to avoid UID/GID conflicts between your system and MANDARA system.
 - User accounts are managed by each user's respective laboratory.

- People who have MANDARA account on ITC system's can use a home directory assigned in file server. Any other accounts must be prepared by the individual.
4. Super User Accounts ("Administrator" accounts in Microsoft Windows) are available on a limited basis.
 - If you need a super user account to conduct your research, please consult with ITC. If such an account is granted, it is up to the user to ensure responsible usage of the account in order to avoid problems.
 - Super user accounts cannot be issued for any other circumstance other than the one detailed above.
 5. MANDARA Account suspension
 - Any user's MANDARA account who violates any of the policies outlined in the NAIST Information Network Ethics Regulations will be suspended.

Privacy

6. ITC outlines the privacy policy as follows:
 - Information gained in the course of your research may not be disclosed to a third party for the rest of your life.
 - The use of personal information is restricted to cases where such information is deemed necessary for either your research or work.
 - When the personal information become unnecessary for your research, you have to completely delete the information.
 - If personal information is leaked, the issue will be handled according to our university's policies.
7. ITC use the personal information to limited purpose. The ITC saves personal information for the following reasons:
 - Personal information
 - ITC will use personal information files to estimate users' identification.
 - That file includes name, affiliation, MANDARA account name, MANDARA account term and system parameter.

- Purpose
 - MANDARA account assignment and experimentation
 - System observation
 - Stable system operation
- Personal information and files are defined in the third clause of the NAIST Personal Information Management Policy.

Data on MANDARA

8. The amount of data property on MANDARA is vested to our university.

Computer Equipment provided by ITC

9. You may not extend or alter any system hardware provided by ITC. Additionally, you cannot change hardware connections such as USB and Ethernet.
10. Please ensure that all individual workstations' power switches (including Microsoft Windows and Apple machines) are left on.
11. You are not allowed to move personal workstations provided by ITC.
12. ITC is unable to assign local disks attached to your workstation.
13. ITC performs scheduled backups of your home directory and project disks so long as those disks remain under the 500GB storage limit.
14. Your home directory is limited. ITC has assigned a 200GB limit for faculty members and a 100GB limit for students.
 - A) You may request to change the amount or disk space you are assigned.
 - B) ITC is unable to assign an entire disk space to a user or dedicated laboratory.

Network Connectivity

15. You must consult with ITC before connecting any equipment to the MANDARA network. If the proposed equipment poses any potential for network system failures, the request will be denied.
16. Only use IP Addresses that have been assigned by the ITC.
17. Equipment required for connecting to the network (e.g. a network cable) must be provided by the user.

Consumable products

18. Individual departments are responsible for the ordering and funding of consumable products.
19. Individual users are responsible for changing printer equipment such as paper, ink toner, etc. Such equipment is managed by each individual department.

Maintenance

20. Please be aware that the network requires periodic downtime for maintenance. In such cases ITC will issue a notice by email about 1 week prior to the maintenance shutdown.
21. If a system failure occurs and emergency action is necessary, ITC will immediately shutdown the system and commence recovery work after communicating with the individual departments.

Others

22. ITC operates the following systems with the main user:
 - Small Cluster Server, Information Science System, Bioinformatics Processing System, Material Information Processing System, Material Research System
23. Please consult with ITC before using equipment for presentations.
24. As a general rule, you should remove your data and files from MANDARA system until your MANDARA account expiry date. The files that is managed by ITC will be removed after your account expiring.
25. In the case of broken or stolen MANDARA system equipment, ITC will take the issue up with the user.
26. ITC have an individual MANDARA system user manual. Please see ITC if you require it.

附属図書館 (キャンパスマップ②)

本学附属図書館は先端科学技術（情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学）に関する教育・学術研究活動を支援する電子図書館です。本学の電子図書館のコンセプトは、図書・雑誌を冊子体ではなくデジタル技術により曼陀羅ネットワークを介して、いつでもどこでも自由に利用できることです。授業ビデオ・学位論文などの大学生産物を多様なメディアで提供するとともに、世界レベルの情報を統合的にフルテキストまで容易にアクセスできます。

また、図書や雑誌を冊子体で提供する来館型図書館サービスについても、本学の教職員および学生は、24時間閲覧室の利用と貸出サービスの利用ができます。折々のテーマに沿った図書を展示する「知の森コーナー」、グループ学習タイプの閲覧室「マルチメディアラウンジ」・「シアターラウンジ」を備え、また、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館とも連携し、幅広いサービスの充実に努めています。

電子図書館の主なサービス

1. 高度な情報検索

本学蔵書・電子化資料・学術リポジトリと電子ジャーナル・電子ブック・データベースを横断的に高速検索することができます。書誌・目次・抄録情報だけでなく、本文情報を含めたきめ細かい高度な検索機能を提供しています。

2. パーソナライズ機能

Web 経由で各種申し込み、進捗状況の把握やオンラインコンテンツの管理が行えます。

3. 新着情報通知機能 (SDI)

本文テキストをデータベース化することにより、利用者があらかじめ登録したキーワードに合致する資料の新着情報を電子メールで自動通知します。

4. 授業アーカイブ

研究科における授業をデータベース化して公開する「授業アーカイブ事業」を平成 17 年度から行っています。大学の要である日々の授業や講演を、許諾を得て蓄積・公開しています。

5. 学内生産物の組織的な保存、管理

学内の学生、教員、研究者などが生産する学位論文、テクニカルレポート、科学研究費補助金研究成果報告書などの研究成果、また学内で行われる招待講演なども、著者または講演者から、インターネット経由で利用する許諾を得た上で、デジタル情報として収集し、データベース化することで一元的な保存、管理および提供を可能にしています。



NAIST Library (② marked on the campus map)

We, NAIST Library support education and research in advanced sciences and technologies (especially in information science, biological sciences, and materials science). We pursue to make our library keep providing NAIST members with excellent accesses to books, magazines and scientific information anytime, anywhere connected with the internet through “MANDARA network”.

We provide accesses to digitalized NAIST academic works (e.g. lectures and academic dissertations), and efficiency navigation to full-text of latest scientific information on the library website.

We also provide usual library services (e.g. book circulation, magazine browsing) for 24 hours. And we are improving services: setting up the booth offering books in specialized theme, “CHI NO MORI”, renovation for group meeting rooms “Multimedia Lounge” and “Theater Lounge”, enlarging interlibrary services (already available with other academic libraries, National Diet Library and Nara Prefectural Library and Information Center).

The major services of the library

1. Advanced search

NAIST library provides fast crossover search function on the library web from our book collection, digitalized NAIST academic works, our institutional repository collection, available e-journals and e-books. This will give you fine result by search in full-text data of our collection as well as in bibliographies, tables of contents and abstracts.

2. Personalization

NAIST library provides functions to allow the members to request services and to confirm order status via the personalized web page for each member.

3. Selective dissemination of information ("SDI")

NAIST library provides "SDI" function to send an email to inform of arrival of the material including the words of concern that the members registered on the personalized web page.

4. Lecture archives

NAIST library launched “Lecture archive”, that have digitalized our schools’ lecture movies, to make them public or release to the members on the library web from the year 2005. NAIST library is digitalizing and releasing the lectures, the principal activity of NAIST, with permission of lecturers.

5. Centralized production of digitalized works

NAIST library takes the central role in producing, releasing and managing digitalized date of NAIST academic works with permission for access through the internet.

The major types of digitalized works are follows:

- a. Scientific articles
- b. Academic dissertations
- c. Technical reports
- d. KAKENHI Research-results reports
- e. Lecture movies (including guest lecturers if permitted.)

英語Eラーニングシステム(ALC NetAcademy 2)



1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2は LAN 環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEIC テスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも 24 時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

3. アクセス

「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページのその他「ALC NetAcademy」からログインしてください。
(<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>)

<ログイン方法について>

アカウント：MANDARA-DOMAIN¥曼陀羅アカウント名

パスワード：曼陀羅パスワード

4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、
技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

5. 動作環境

NetAcademy2 は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWW ブラウザ	Internet Explorer 8 / 9 / 10 / 11
その他	FlashPlayer 12.0

※対象 OS 以外でも FlashPlayer が動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4 では 『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』 という症状が確認されています。



English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)

1. What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

2. Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

3. How to Access?

You can directly access the following URL,

<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>

<How to login> Account : MANDARA-DOMAIN¥“MANDARA account”

Password: “MANDARA password”

4. What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course
- Course for Beginners and Intermediates Plus
- Technical English (Basic Course)
- Technical English (Power-up Course)

5. Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 *
WWW Browser	Internet Explorer 8 / 9 / 10 / 11
Browser Plug-in	Flash Player 12.0

*NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly. However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.

*On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.

11 キャンパスライフ



11 キャンパスライフ

授業料の額及び納付方法

1. 授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程	535,800 円	春学期(4月～9月)分:平成27年 5月27日(水)
博士後期課程	(半期 267,900 円)	秋学期(10月～3月)分:平成27年 11月27日(金)

※1: 在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。

(5月及び11月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)

※2: 5月及び11月の授業料の引落日は27日ですが、27日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落としとなります。(引き落とし日の前営業日の15時に残高照会が行われます)

2. 納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替(代行納付)により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、4月30日(木)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されます。)口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係(内線6227)まで問い合せてください。

授業料の納付を2期分怠ると除籍となりますので、ご注意ください。

学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外の入室(午後7時以降翌朝午前7時30分までの間、土曜、日曜、祝日)や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の所属研究科、入学年、学生番号が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

カード所持にあたっての注意事項

- ① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
- ② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
- ③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに学生課学務係へ届け出ること。
当該建物に入る際、カードリーダーを通して作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。(事務局棟1階:防災センターで対応)
- ④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに学生課学務係へ返却すること。
- ⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
 - ・高磁場・磁気(NMR等)に近づけない
 - ・高温な場所(夏場の車内等)に放置しない
 - ・折り曲げない

学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに学生課学務係へ届け出てください。

●記載事項

- ・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号
- ・勤務先の情報（有職者のみ）
- ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号

●届出方法

学生課窓口（学務係）で受け付けます。

諸手続・諸証明書

1. 諸手続

手続きには、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 (個人留学を含む。病気の場合は診断書添付) ※2週間前までに提出	学生課学務係 (内線 5085)
復学願	休学期間の途中で復学する場合 (病気の場合は診断書添付)	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 (病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付)	
退学願	退学する場合 ※2週間前までに提出	
改姓(名)届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
留学願	海外に留学するとき(3ヶ月以上の場合) ※2週間前までに提出	
海外渡航届	海外に渡航するとき(3ヶ月未満の場合) (学生出張の場合は除く)	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	
進路・就職(内定)届	修了等により本学の学籍がなくなる時	キャリア支援室 (内線 5921)
旅行(一時帰国)届	外国人留学生が一時帰国・出国する時 ※事前に提出すること。所定用紙については留学生交流係まで問い合わせてください。	学生課留学生交流係 (内線 5909, 5087)

学生課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、学生課窓口及び学内専用ホームページ[在学生の皆様へ]-[各種申請・願・届出書等覧]
(<https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html>)から入手できます。

●休学・退学の手続きに関する注意事項

(1) 休学

- 病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3ヶ月以上 修学できない場合に申請することができます。
- 休学期間は 1年以内 です。ただし、特別の理由がある場合は 1年 を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、休学期間終了の2週間前までに再度休学(延長)願を提出してください。
- 休学期間が終了すると、自動的に復学となります。復学届を提出してください。
- 休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
- 復学後の修了の見込み等もお知らせください。
- 一部の証明書(修了見込証明書、健康診断証明書、学割証)について発行することはできません。
- 図書館の利用はできません。
- 休学期間中の授業料は徴収しません。

(2) 退学

- 博士後期課程に3年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍(履歴)上は「研究指導認定退学」となります。
- すでに納付した授業料は返還できません。

(3) 共通

- 授業料の納付が許可の条件となります。
- 納付済みの授業料は返還しません。ただし、次に該当する場合は授業料を返還します。
 - ・ 休学が許可された場合、休学期間中の授業料相当額
 - ・ 春学期の授業料を徴収するときに当該年度の秋学期の授業料を併せて納付した方が、秋学期開始までに退学が許可された場合、秋学期に係る授業料相当額
- 学籍異動希望日の 2週間前 が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
- 原則学期単位で申請してください。
休学：開始日は原則4月または10月から。終了日は9月末または3月末。
退学：許可希望日は原則9月末または3月末。
- 願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。
 - ・ 休学：病気療養の場合には診断書を添付、業務多忙の場合には勤務先名称をご記入ください。
- 学生宿舎等の退去、奨学金受給停止手続きなども考慮してください。

2. 諸証明書

●証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、次表（備考欄）を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで 設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在学後、 博士後期課程については D2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書で、修得した科目のみ記載され、不合格科目は記載されません。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。修得した科目及び不合格科目について記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検査している者に限る。なお、秋学期入学者は翌年に実施される同健康診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）	・年間割当数 1 人当たり 10 枚 ・有効期間 3 か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

●窓口で交付する証明書

証明書自動発行機により発行していない証明書については、所定の証明書交付申請書を使用し、学生課窓口に応じ込んでください。交付に日時を要するものがあるので、あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

証明書の名称	交付条件	問合せ・申請窓口
国費外国人留学生証明書等 留学生に係る証明書	交付申請受付日の翌日午後 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課留学生交流係 （内線 5909, 5087）
学生宿舍入居証明書	交付申請受付日の翌日午後 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）
学研災・学研賠償加入証明書	交付申請受付日の翌日午後 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）

●通学証明書

(1) 通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学生番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。（記入欄がなくなりましたら学生課窓口に応

し出てください。)

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

(2) 実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の1ヶ月前までに学生課学生支援係に申し出てください。(鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。)

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与をうけ、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定したのものには、貸与期間終了時に、学資金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区 分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の 選択可能	申請者が次の貸与月額から 選択(5・8・10・13・15万円)	当該課程の標準(最 短)修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円 の選択可能		

申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

海外への留学制度

日本学生支援機構では、大学間交流協定などにより海外の大学等に短期間(1年以内)留学をする学生を対象とした海外留学支援制度(短期派遣:月額6~10万円)や修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に1年以上留学する学生等を対象とした海外留学支援制度(長期派遣:月額9~15万円程度)などがあります。詳細は、日本学生支援機構のHPをご覧ください。<http://www.jasso.go.jp/>

その他、政府奨学金や民間団体の奨学金の募集案内は、学生課留学生交流係より電子メールで通知いたします。

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校主催行事中、学校認定団体の課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「しおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間
博士前期課程	1,750 円	2 年間
博士後期課程	2,600 円	3 年間

学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「しおり」を参照してください。

区分・名称	学生教育研究賠償責任保険 (略称：学研賠)
活動内容	正課、学校行事及びその往復
対人賠償・対物賠償	1 事故 1 億円限度
保険料（※）（1 年間）	340 円

※4 月入学者は翌年 3 月 31 日まで、10 月入学者は翌年 9 月 30 日まで

学研災付帯学生生活総合保険（略称：学研災付帯付帯学総）

学研災付帯学生生活総合保険は、学生生活全般を補償する保険制度です。

本学では、任意加入としていますので、加入を希望する場合は、各自で申し込みを行ってください。詳細パンフレットは、学生課学生支援係に設置しています。

学生宿舎（キャンパスマップ⑬）

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

[学生宿舎の概要]

区分	単 身 用	夫 婦 用	家 族 用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 m ²	36.98～41.45 m ²	51.56 m ²
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	—————	—————
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

大学借り上げ住宅

（独）都市再生機構の賃貸住宅（公団住宅）を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の 3 団地です。

詳細は学生課学生支援係へ問い合わせてください。

駐車場及び駐輪場の利用

1. 自動車に通学する場合

大学構内に自動車で乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金（1 日 300 円）を用意し又は予め定期券（駐車券）を購入して駐車してください。

なお、定期券（駐車券）は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団（高山サイエンスプラザ内）で購入してください。2 回目以降は、学生会館 1 階売店で購入することができます。

・定期券料金(学生)：1ヶ月 1,500 円、3ヶ月 4,000 円、6ヶ月 7,500 円

2. 自転車及びバイクに通学する場合

大学構内に自転車及びバイクで乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、学生課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

国立博物館キャンパスメンバーズ

大学と国立博物館が連携を図ることによって、博物館が所蔵する文化財を核として、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供することを目的としています。本学では現在、奈良国立博物館・京都国立博物館とキャンパスメンバーズの提携を結んでいます。

本制度により、本学学生（正規生・非正規生）は、学生証を提示すると各博物館が開催する平常展・特別陳列が無料で何度でも観覧できます。また、各博物館が開催する特別展が特別割引料金等で観覧できます。その他の特典等の詳細については本学ホームページ (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html) をご覧ください。

福利厚生施設

1. 大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、売店、保健管理センターを設けています。

2. 研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑦）

本学学生・教職員も利用できます。申込み方法等は次のとおりです。詳しくは本学ホームページ (http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html) をご覧ください。

区 分	利用時間	申込み方法
宿泊施設	チェックイン：15時から チェックアウト：11時まで	人事課福利厚生係まで利用を申し出てください。（内線 5033） 電子メール：fukuri@ad.naist.jp
集会施設	午前9時から午後9時まで (12月29日～1月3日利用不可)	
フィットネス室	午前9時から午後10時まで	特に必要ありません

3. 各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区 分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前7時から日没まで	毎月20日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：先端科学技術研究推進センター 1階ロビー ・時間：午前9時
バレー・バスケットコート	午前7時から午後10時まで	
テニスコート	午前7時から日没まで	
テニスコート（照明付き）	午前7時から午後9時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、学生課学生支援係に問い合わせてください。

4. 高山サイエンスプラザ

大学の隣接地に、本学の支援財団が運営する高山サイエンスプラザがあり、その施設内にもレストラン、研修室等が設けられています。

日本語補講

NAIST 内で『ボランティア団体ネットワークいこま（代表者：山崎先生）』がボランティアで日本語補講を実施してくださっています。多くの留学生がこの日本語補講に参加し、日本語学習に力を入れています。先生方は皆さん親切でとても素晴らしい授業をしてくださっています。

日本で生活するにあたり、日本語能力はやはり不可欠です。皆さんがより快適に楽しく生活を送るためにもより多くの留学生に日本語補講に参加していただきたいと思っています。

補講日：毎週火曜日 18：00 ～ 20：30 毎週土曜日 10：00 ～ 12：30

参加費：無料

休講日：夏季休暇、冬季休暇、国民の休日など

参加を希望される方は留学生交流係へ問い合わせてください。日本語レベルによりクラス分けされていますので、みなさんの現時点での日本語のレベルもあわせて教えてください。こちらから、先生に連絡し先生から皆さんに詳しいお知らせが届くようになっています。

その他

1. 学生課窓口業務取扱時間

8：30～17：30（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び12月29日～1月3日の期間を除く。）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

2. 大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

3. 学生向け HP の開設【<https://ad-info.naist.jp/member/>】

本学ホームページ内に「在学生の皆様へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係（履修・成績評価終了通知・時間割変更）、オンライン型英語学習システム（ALC NetAcademy）、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

4. 公共交通機関の遅延、学会の登壇発表、就職試験、忌引き、感染症など、やむを得ない理由による欠席のため単位修得に支障が出る場合には、担当教員に相談してください。

1 1 Campus Life



Tuition and payment

1. Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course	535,800 yen	Spring semester (April to September): Due May 27 (Wednesday), 2015
Doctoral course	(267,900 yen for a half-year term)	Autumn semester (October to March): Due November 27 (Friday), 2015

*1: If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged.

(You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during May and November.)

*2: Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

2. Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIST. If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by April 30 (Thursday), 2015. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Funding Section of the Finance Division (extension: 6227).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIST.

Student ID Card

NAIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIST.

Precautions on handling your student ID card

- (1) You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
- (2) You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
- (3) If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.
If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.
- (4) When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.
- (5) Protecting your card:
 - Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
 - Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
 - Do not fold your student ID card.

Student Personal Report

The information contained in the “Student Personal Report” (*Gakusei kojīn houkokusho*) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.

● Registration details

- Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST
- Information about your place of work (if you are a working student)
- Name of a contact person in case of emergency, person’s relationship with you, and his/her address and telephone number

● Where to report

Please report the change to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

Procedures and issuance of certificates

1. Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness, studying abroad, and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * The form should be submitted at least two weeks in advance.	Academic Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5085)
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. (For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.)	

Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name should also be submitted.	
Overseas Study Application	When you go studying abroad for three consecutive months or longer * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Overseas travel form	When you are to travel overseas for less than three months (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	
Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office (Extension: 5921)
Notice of Absence from Japan	When international students are to temporarily return to their home countries or depart from Japan. * Please submit "Notice of Absence from Japan" before leaving. ※The form is available at International Student Affairs Section for the document.	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
The forms to be submitted to the Student Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html		

●Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

(1) Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit "Return from leave notice form."
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.

(2) Withdrawal

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as “having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor” in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

(3) Common matters

- Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:
 - If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.
 - If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.
- The deadline for submitting the form is two weeks prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.
- In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.
 Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.
 Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.
- You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.
 - Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.
- Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

2. Issuance of certificates**●Certificates that are automatically issued**

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays) Location: Entrance lobby of NAIST Library
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master’s course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master’s course (Japanese/ English) Certificate of academic records of Master’s course (Japanese/ English)	Only available for those who have proceeded to the doctoral course internally from the master’s course at NAIST.	

Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health (Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	<ul style="list-style-type: none"> • Up to 10 certificates are issued per student annually. • The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.) 	

● Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Student Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

Certificate	Conditions of issuance	Contact office
Certificate for Japanese Government Scholarship students	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate for international students (Ex. Certificate for Japanese Government Scholarship students)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate of occupancy in student dormitory	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)
Certificate of Enrollment Personal Accident Insurance for Students Pursuing (PAS)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)

● Commuter certificate

(1) Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (*Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae*) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Student Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takanohara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

(2) Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Student Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

Tuition waiver

NAIST offers a tuition fee waiver program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by wind, flood or other natural disaster to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Study Abroad (Short-term study abroad program)

JASSO is providing the scholarship for qualified students under the student exchange agreement on a short-term basis within one year (Monthly stipend: ¥60,000~¥100,000) and also the scholarship for qualified students who study overseas to pursue a master or doctoral degree for over a year (Monthly stipend: ¥90,000 ~ ¥150,000 ~). Please access the website of JASSO homepage for details at <http://www.jasso.go.jp/>.

The information on other scholarships such as Government Scholarships or Private Scholarships will be notified by the International Student Affairs Section by e-mail.

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break in the campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purpose. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures.

For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Special insurance for contagious infection prevention has become optional. If you would like to apply for the insurance, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Course	Insurance premium	Insurance period
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

Liability Insurance coupled with PAS

All students are also required to take out the Personal Liability Insurance for Students (Gakkenbai). This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus. For more details about the Gakkenbai insurance, please refer to the booklet.

Option	Liability insurance for students pursuing education and research
Coverage	Damage to others or their property caused by the student while attending lectures, university events and traveling to and from university facilities for these purposes
Amount of coverage	Up to 100 million yen per incident
Insurance premium* (1 year)	340 yen

- Valid for a one-year period until March 31 for students admitted in April and until September 30 for students admitted in October.

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai provides comprehensive coverage against risks that may arise in campus life. At NAIST, students are not obligated to be covered by this insurance. If you wish to take out the insurance, please complete the necessary procedures by yourself. Brochures with details of this insurance are available at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

Outline of student dormitories

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 m ²	36.98 – 41.45 m ²	51.56 m ²
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	_____	_____
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division for details.

Parking a car and bicycle

1. Commuting by car

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the shop on the first floor of the University Union.

Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

2. Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Student Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

National museums campus members

NAIST has joined the campus members system. The campus members system is a cooperative system between national museums and universities which aims to provide students with the opportunity and facilities to study culture and history through the sharing of the museums collections of cultural assets.

Holders of NAIST Student ID cards (both regular and non-regular students) are allowed free entry to the regular exhibitions including featured exhibitions at the Kyoto National Museum and Nara National Museum as many times as they wish. Or discount rate applies to the special exhibition. For more details about other benefits, please refer to the website of NAIST. (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html)

Student welfare facilities

1. University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, shop, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

2. Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map 7)

Students and faculty members of NAIST can use the facilities of Guesthouse Sentan as outlined below. For more details, please refer to the website of NAIST. (http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html)

Facilities	Period of use/service hours	Where to apply
Accommodation	Check-in time: after 3:00 pm Check-out time: before 11:00 am	Welfare Section of the Personnel Division Extension: 5033 E-mail: fukuri@ad.naist.jp
Meeting room	Open from 9:00 am to 9:00 pm (Closed from December 29 to January 3)	
Fitness room	Open from 9:00 am to 10:00 pm	Application is not necessary.

3. Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	7:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20 th day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Research Center for Advanced Science and Technology Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	7:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	7:00 am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

4. Takayama Science Plaza

Takayama Science Plaza, operated by the Foundation for NAIST, adjoins NAIST, which houses a restaurant and seminar rooms.

Japanese Language Classes

The Network Ikoma (representative : Ms.Yamazaki) provides Japanese classes on a volunteer basis at NAIST. Many students take these classes, working hard to improve their Japanese. The teachers are extremely kind, and the content of the classes they offer is excellent.

Proficiency in Japanese is key to life in Japan. We hope that many international students will take these classes so they may have a more comfortable and enjoyable stay in Japan.

Days : Tuesdays, 18 : 00 ~ 20 : 30 Saturdays, 10 : 00 ~ 12 : 30

Fees : Free of charge

Classes closed : Summer vacation, winter vacation, and national holidays.

Please contact the International Student Affairs Section if you are interested in participating.

Students are assigned to a class depending on their level, so please inform us of your current Japanese level.

We will contact the teachers, who provide students with further details on the classes.

Other matters

1. Counter hours of the Student Affairs Division

8:30 am – 5:30 pm (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST, Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

2. Notification from NAIST

NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

3. Website for students [<https://ad-info.naist.jp/member/>]

You can access the website for students by clicking “Internal Only” on NAIST’s website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), Academic affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

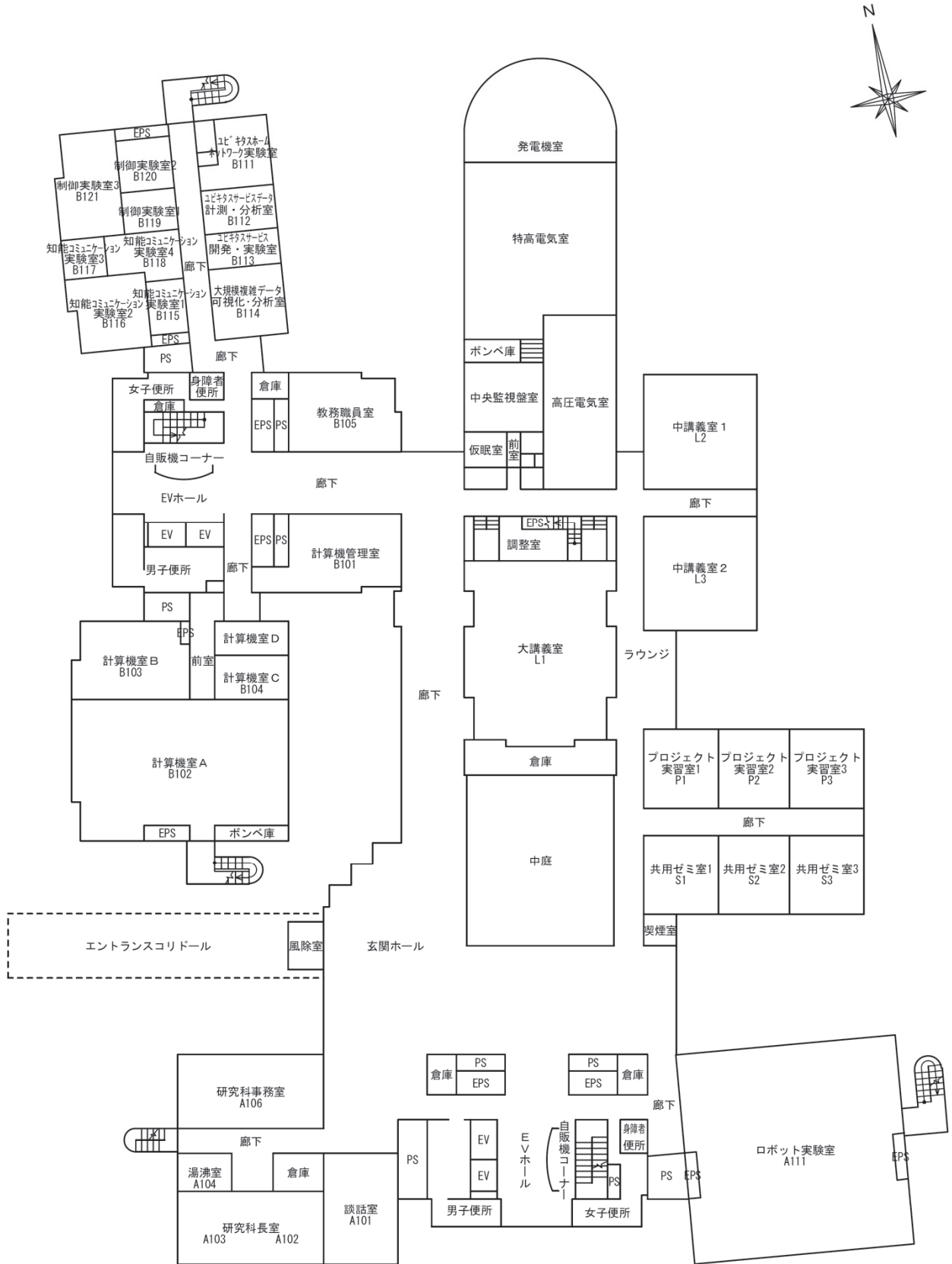
4. Consult Faculty members in charge of subjects if students cannot attend lectures and are possibility not to get credits due to unavoidable reasons including delayed public transportation, conference presentation, employment examinations, mourning, infectious disease and so on.

・キャンパスマップ



- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ①事務局 | ⑩動物飼育実験施設 |
| ②総合情報基盤センター・
附属図書館(電子図書館) | ⑪植物温室 |
| ③学生会館・保健管理センター | ⑫物質創成科学研究科・
物質科学教育研究センター |
| ④IR オフィス・研究推進機構 | ⑬学生宿舍・職員宿舍 |
| ⑤学際融合領域研究棟 2号館 | ⑭グリーンラボ |
| ⑥ミレニアムホール | ⑮正門 |
| ⑦ゲストハウスせんたん | ⑯事務局別館 |
| ⑧情報科学研究科 | ⑰バイオナノプロセス実験施設 |
| ⑨バイオサイエンス研究科・
遺伝子教育研究センター | ⑱学際融合領域研究棟 1号館 |

・ 情報科学研究科平面図

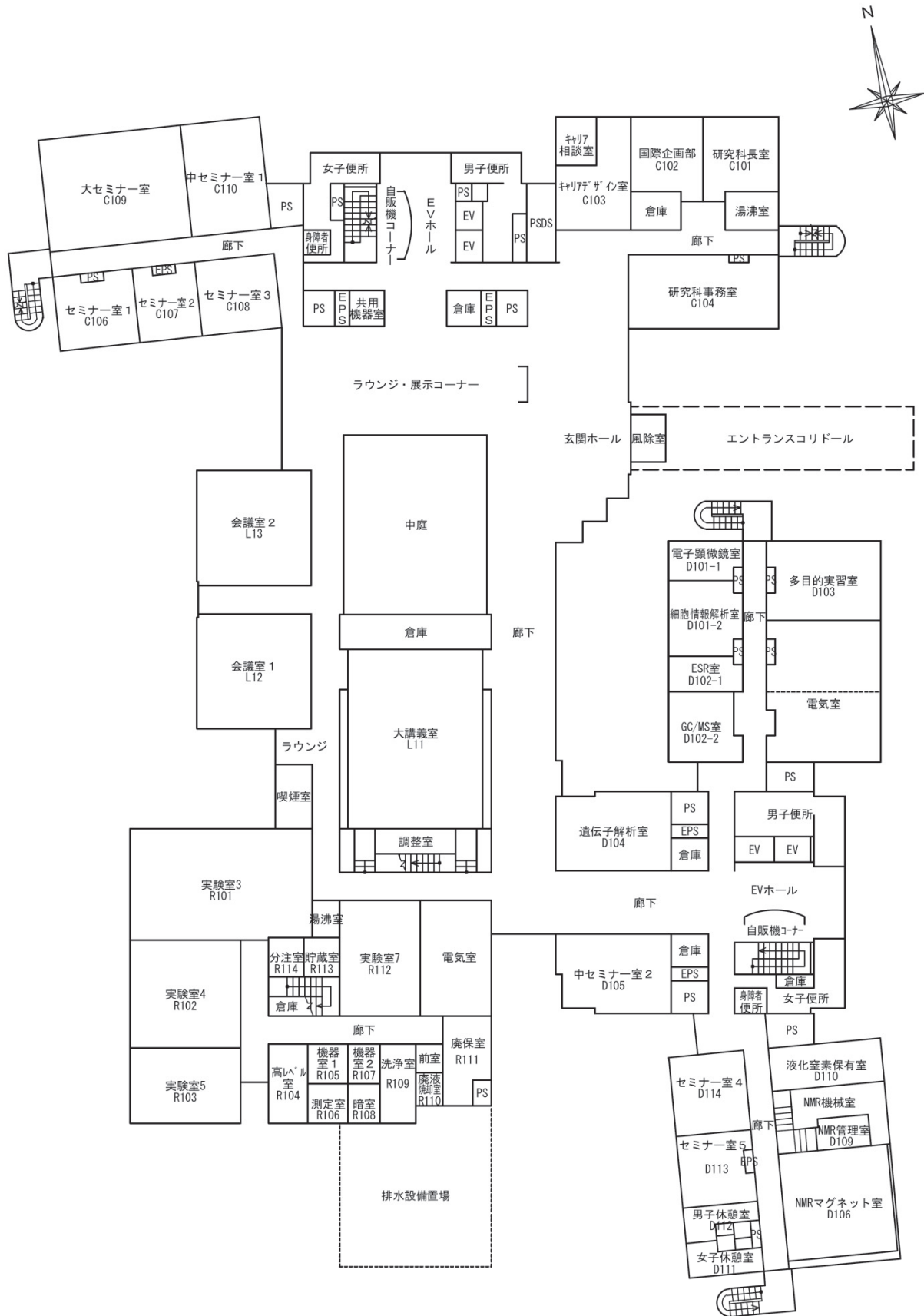


1 F 平面図

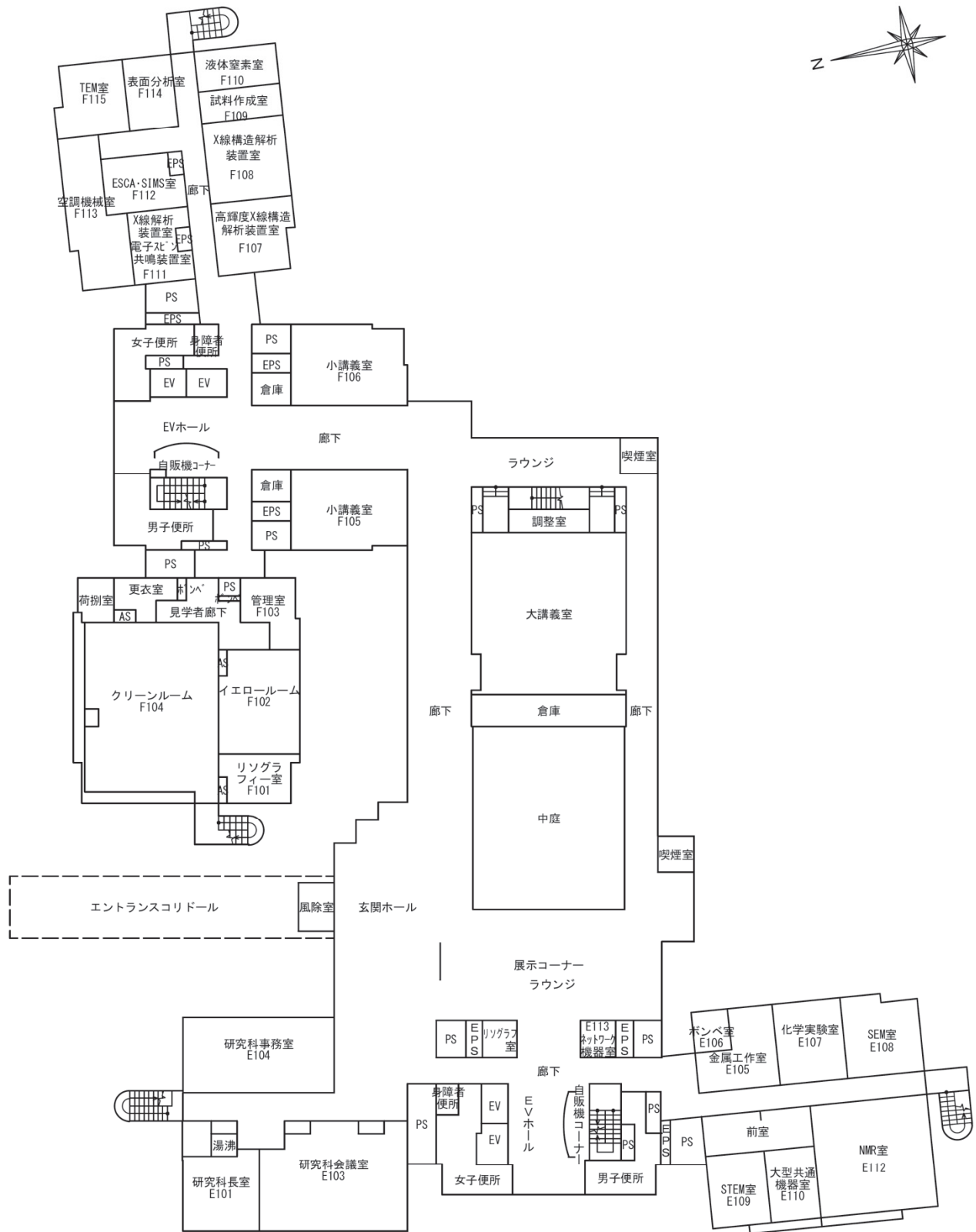
建物平面図

・バイオサイエンス研究科平面図

建物平面図



・物質創成科学研究科平面図



1 F 平面図

建物平面図

12 学則・諸規程

平成27年4月からの学則について

- ・現在掲載しております学則は、平成27年3月時点のものです。
- ・平成27年4月以降は、掲載しております3月時点のものから、変更がおこなわれます。
- ・詳細は、本学ホームページ (<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/02010.pdf>) を参照ください。

奈良先端科学技術大学院大学学則

平成16年4月1日
学則第 1 号

目次

- 第1章 総則（第1条－第3条）
- 第2章 教育研究組織等（第4条－第11条）
- 第3章 学長、副学長及び研究科長等（第12条－第19条）
- 第4章 教授会（第20条）
- 第5章 入学定員及び収容定員（第21条）
- 第6章 学年、学期及び休業日（第22条－第24条）
- 第7章 入学（第25条－第30条）
- 第8章 標準修業年限及び在学年限（第31条・第32条）
- 第9章 教育方法等（第33条－第40条）
- 第10章 修了の要件及び学位等（第41条－第46条）
- 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学（第47条－第53条）
- 第12章 検定料、入学料及び授業料等（第54条－第65条）
- 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生（第66条－第69条の2）
- 第14章 賞罰及び除籍（第70条・第71条）
- 第15章 学生宿舎（第72条）
- 第16章 公開講座（第73条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。
- 3 自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 教育研究組織等

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

(研究科、専攻)

第5条 大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研 究 科	専 攻
情報科学研究科	情報科学専攻
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻

(研究科の目的)

第6条 研究科ごとに、次に掲げる教育研究上の目的を定める。

(1) 情報科学研究科

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(2) バイオサイエンス研究科

生命現象の基本原則と生物の多様性を分子・細胞・個体レベルで解明し、また、その成果を人類社会の諸問題の解決に活用するための最先端の研究を推進するとともに、バイオサイエンスが関わる広範な領域をカバーした体系的な教育を行い、バイオサイエンスの深化とその活用を担う、創造的かつ先端的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(3) 物質創成科学研究科

物質の構造と機能を分子・原子・電子レベルまでに立ち返って解明し、物質科学の創造

的な研究を推進するとともに、物質科学の広範な領域をカバーした体系的な教育を通じて、人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を担う人材及び技術革新の場や幅広い科学技術分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

(教員組織)

第7条 研究科に、教員組織を置く。

2 教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

(課程及び課程の目的)

第8条 研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

3 博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(総合情報基盤センター)

第9条 本学に、総合情報基盤センターを置く。

2 総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。

3 総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

(先端科学技術研究推進センター)

第9条の2 本学に、先端科学技術研究推進センターを置く。

2 先端科学技術研究推進センターに関し必要な事項は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第10条 本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。

(1) 遺伝子教育研究センター

(2) 物質科学教育研究センター

2 学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

- 第11条 本学に、保健管理センターを置く。
2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

第3章 学長、副学長及び研究科長等

(構成員)

- 第12条 本学の構成員は、次のとおりとする。

学長
副学長
研究科長
副研究科長
総合情報基盤センター長
先端科学技術研究推進センター長
学内共同教育研究施設の長
遺伝子教育研究センター長
物質科学教育研究センター長
保健管理センター所長
教員
一般職員
その他必要な職員

- 2 教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。
3 一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

(学長)

- 第13条 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

- 第14条 副学長は、学長を補佐する。

(研究科長)

- 第15条 研究科長は、当該研究科及び研究科に係る学内共同教育研究施設の運営をつかさどる。

(副研究科長)

- 第16条 副研究科長は、当該研究科長を補佐する。

(総合情報基盤センター長)

- 第17条 総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

(先端科学技術研究推進センター長)

第17条の2 先端科学技術研究推進センター長は、先端科学技術研究推進センターの業務をつかさどる。

(学内共同教育研究施設の長)

第18条 各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

(保健管理センター所長)

第19条 保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

第4章 教授会

(教授会)

第20条 研究科に、教授会を置く。

2 教授会は、当該研究科に係る次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教育課程の編成に関する事項
- (2) 学生の入学に関する事項
- (3) 学生の休学に関する事項
- (4) 学生の留学に関する事項
- (5) 学生の転学に関する事項
- (6) 学生の退学に関する事項
- (7) 学位の認定に関する事項
- (8) 学生の成績に関する事項
- (9) 学生団体、学生活動及び学生生活に関する事項
- (10) 学生の賞罰に関する事項
- (11) 研究の体制に関する事項
- (12) 研究科の教育及び研究について密接に関係する学内共同教育研究施設の教育及び研究に関する事項
- (13) 自己点検等に関する事項
- (14) その他教育及び研究に関する事項

3 教授会は、当該研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。

4 前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。

5 教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。

6 議長は、教授会を主宰する。

7 議長に事故があるときは、副研究科長が議長の職務を代行する。

8 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決すること

ができない。

- 9 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 10 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

第5章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第21条 入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

第6章 学年、学期及び休業日

(学年)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

第23条 前条の学年を、次の学期に分ける。

- (1) 春学期 4月1日から9月30日まで
- (2) 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第24条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日
- (3) 創立記念日(10月1日)
- (4) 春季、夏季及び冬季の休業日
- 2 前項第4号の休業日については、別に定める。
- 3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第7章 入学

(入学資格)

第25条 博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条第1項に定める大学を

卒業した者

- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (8) 次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
 - ア 大学に3年以上在学した者
 - イ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別

- に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号に定める文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 第1項第10号及び前項第8号に定める入学資格審査の実施方法等については、各研究科において、別に定める。

（入学の時期）

第26条 入学の時期は、学期の始めとする。

（入学の出願）

第27条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願出しなければならない。

（入学者の選抜）

第28条 本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

（入学手続き及び入学許可）

第29条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

（博士後期課程への進学）

第30条 本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、当該研究科の教授会が選考の上、進学を許可する。

第8章 標準修業年限及び在学年限

(標準修業年限)

第31条 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とする。

(在学年限)

第32条 博士前期課程の学生は4年、博士後期課程の学生は6年を超えて在学することができない。

第9章 教育方法等

(教育方法)

第33条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

(授業科目及びその単位数並びに履修方法等)

第34条 前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、当該研究科において別に定める。

(単位の計算方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 各研究科において、一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して当該研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(成績評価基準等の明示等)

第35条の2 各研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 各研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第35条の3 本学は、当該研究科の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の授与)

第36条 授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の研究科の授業科目の履修等)

第37条 学生が他の研究科の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、他の研究科の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科において定める範囲内で第35条に規定する単位に充当することができる。

3 他の研究科の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第38条 学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、10単位を超えないものとする。

3 第1項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。

4 前3項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。

5 他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(休学期間中に外国の大学院において履修した授業科目の単位の認定)

第38条の2 学生が休学期間中に外国の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、当該研究科の教授会において教育上有益であると認めるときは、本学において修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前条第2項及び第4項により修得したものとみなす単位数と合わせて10

単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第39条 学生が本学に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該研究科の教授会において教育上有益であると認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したものの以外については、10単位を超えないものとする。
- 3 入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院等における研究指導等)

第40条 学生が、他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

- 2 前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科において受けた研究指導とみなすことができる。
- 3 第1項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
- 4 他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 修了の要件及び学位等

(博士前期課程の修了の要件)

第41条 博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前項の場合において、当該研究科の教授会において適当と認められる場合には、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

(博士後期課程の修了の要件)

第42条 博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研

究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上2年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「1年」とあるのは「3年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読み替えて、同項の規定を適用する。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に3年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(修了の認定)

第43条 修了の認定は、当該研究科の教授会が行う。

(学位)

第44条 研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。

- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。
- 3 学位に関し必要な事項は、別に定める。

(修了の時期)

第45条 修了の時期は、学期の終りとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

第46条 教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
情報科学研究科	情報科学専攻	高等学校教諭専修 免許状	情報
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス 専攻	中学校教諭専修免 許状 高等学校教諭専修 免許状	理科 理科
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	中学校教諭専修免 許状 高等学校教諭専修 免許状	理科 理科

第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学 (休学)

第47条 病気その他のやむを得ない事由又は学長が認める事由により、引き続き3月以上修学できない者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を得て、休学することができる。

2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

3 休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。

4 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

5 休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。

6 前2項の規定にかかわらず、学長が特に認める休学の事由については、休学期間を別に定めることができる。

7 休学期間は、第31条に規定する標準修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入しない。

(留学)

第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

2 留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第38条及び第40条の規定を準用する。

(再入学)

第49条 本学を退学した者又は除籍された者で、当該研究科に再入学を志願する者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、学長が再入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

(転入学)

第50条 他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、学長が転入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。
- 3 前2項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者（学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

(転学)

第51条 他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

(転研究科)

第52条 転研究科を志願する者がある場合は、転研究科先の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、当該研究科長が転研究科を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

(退学)

第53条 退学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

第12章 検定料、入学料及び授業料等

(検定料、入学料及び授業料の額)

第54条 検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料 (年額)
30,000円	282,000円	535,800円

(検定料の納付)

第55条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文科大臣裁定。以下「実施要項」という。）第4条の推薦による入学志望者は、検定料の納付を要しない。

(入学料の納付)

第56条 入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第2条に定めるものをいう。以下同じ。）は、入学料の納付を要しない。

(授業料の納付)

第57条 授業料は、春学期（4月から9月まで）及び秋学期（10月から翌年3月まで）の2期に分けて、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。

- 2 納付の時期は、第63条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、5月及び11月とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学生の申出があつたときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
- 4 入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があつたときは、入学を許可する時に徴収するものとする。
- 5 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

(復学等の場合における授業料の額及び徴収方法)

第58条 春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額（以下「月額」という。）に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

(学年の途中で修了する場合における授業料の額)

第59条 特別の事情により、学年の途中で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

(休学する場合における授業料の額)

第60条 休学期間の授業料は、徴収しない。

2 徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

(退学等における授業料の額)

第61条 春学期又は秋学期の中途において退学し、転学し、除籍され、又は退学を命じられた者の授業料は、当該期分を徴収する。

(入学料及び授業料の免除等)

第62条 入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第63条 授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第64条 入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの検定料、入学料及び授業料)

第65条 納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合は、授業料を返還する。

- (1) 第57条第3項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、秋学期に係る授業料の納付期限前に退学した場合 秋学期に係る授業料相当額
- (2) 第57条第4項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の前月の末日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 第57条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の途中で修了する場合 当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
- (4) 授業料を納付している者が休学する場合 第60条第2項に該当する授業料相当額

第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生

(特別聴講学生)

第66条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、研究科の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

第67条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、研究科の研究指導を受けさせることができる。

2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第68条 本学の学生以外の者で研究科の授業科目中1科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないと認めるときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第69条 研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障のないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別学修生)

第69条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む。)又は高等専門学校との協議に基づき、当該他の大学の学部若しくはこれに相当する組織又は高等専門学校の専攻科に在学中の者を特別学修生として入学を許可し、研究科の学修指導を受けさせることができる。

2 特別学修生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 賞罰及び除籍

(賞罰)

- 第70条 学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、表彰することができる。
- 2 学長は、本学の規則に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、当該研究科の教授会の審議に基づき、懲戒することができる。
- 3 前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

(除籍)

- 第71条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。
- (1) 在学期間が第32条に規定する在学年限を超えた者
- (2) 休学期間が第47条第4項に規定する期間を超えた者
- (3) 入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったもの
- (4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者

第15章 学生宿舎

(学生宿舎)

- 第72条 本学に、学生宿舎を置く。
- 2 学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

第16章 公開講座

(公開講座)

- 第73条 本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。
- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月21日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月24日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
(平成23年度及び平成24年度の収容定員)
- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年度及び平成24年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成23年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	175人
		情報処理学専攻			96人
		情報システム学専攻			77人
		情報生命科学			59人

		学専攻			
		計	135人	40人	407人
	バイオサイ エンス研究 科	バイオサイ エンス専攻 細胞生物学 専攻 分子生物学 専攻	125人	37人	162人
		計	125人	37人	344人
平成24年 度	情報科学研 究科	情報科学専 攻 情報処理学 専攻 情報システ ム学専攻	135人	40人	350人
		情報生命科学専攻			11人
		計	135人	40人	393人
	バイオサイ エンス研究 科	バイオサイ エンス専攻 細胞生物学 専攻 分子生物学 専攻	125人	37人	324人
		計	125人	37人	358人

(研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置)

- 4 附則第2項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第46条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年2月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年12月1日から施行する。

別表（第21条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期 課程	博士後期 課程	
情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	390人
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス専 攻	125人	37人	361人
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	90人	30人	270人
合 計		350人	107人	1,021人

Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 1

Table of Contents

- I. General Provisions (Articles 1 to 3)
- II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
- III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
- IV. Faculty Council (Article 20)
- V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
- VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
- VII. Admission (Articles 25 to 30)
- VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
- IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
- X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
- XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal (Articles 47 to 53)
- XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
- XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students (Articles 66 to 69-2)
- XIV. Rewards, Punishments and Expulsion (Articles 70 to 71)
- XV. Student Dormitories (Article 72)
- XVI. Open Lectures (Article 73)

Supplementary Provisions

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train high-caliber personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.

Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, with a view to raising the standard of internal education and research and achieving its purpose and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

Article 3 (Active provision of information)

NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

II. Educational and Research Organization

Article 4 (University with graduate school curriculum)

NAIST is a university with graduate school curriculum only.

Article 5 (Graduate School and department)

The Graduate Schools of NAIST have the graduate schools and departments shown in the following table.

Graduate School	Department
Information Science	Information Science
Biological Sciences	Biological Sciences
Materials Science	Materials Science

Article 6 (Objectives of Graduate Schools)

Respective Graduate Schools shall have the following objectives concerning educational and research activities.

(1) Graduate School of Information Science

Promotes advanced research on information science, offers systematic education programs covering diverse fields related to information science (including information processing technology for assisting senses and judgments, technology for building large-scale information systems, technology for building and operating reliable information networks, and extensive interdisciplinary research involving information science and life science), and thereby produces researchers capable of undertaking R&D in the future and engineers with advanced expertise.

(2) Graduate School of Biological Sciences

Promotes state-of-the-art research for elucidating the basic principles of life phenomena and

biological diversity on molecular, cellular, and individual levels, and for utilizing the results to resolve problems faced by the human society, offers systematic education programs covering diverse fields related to biological sciences, and thereby produces creative and leading-edge researchers and engineers with advanced expertise capable of promoting and utilizing biological sciences

(3) Graduate School of Materials Science

Elucidates structures and functions of materials on molecular, atomic, and electron levels, promotes creative research on materials science, and offers systematic education programs covering diverse fields related to materials science, and thereby produces human resources (i) who are keenly interested in the problems faced by human society and the needs of industrial circles and capable of undertaking creative and advanced research in materials science and interdisciplinary domains, and (ii) who assume active roles in fields of technological innovation and diverse sciences and technologies

Article 7 (Chairs)

1. The Graduate Schools have Chairs.
2. The Chairs of the Graduate School consist of basic, guest, endowed, collaborative, and educational collaborative chairs.
3. Matters relating to the Chairs shall be provided for separately.

Article 8 (Courses and their purposes)

1. The Graduate Schools of NAIST have doctoral courses.
2. Each of the doctoral courses consists of a former course (“Master’s Course”) and a latter course (“Doctoral Course”).
3. The Master’s Course aims to equip students with profound academic knowledge based on broader perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, or research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

Article 9 (NAIST Library)

1. NAIST has a library.
2. Matters relating to the library shall be provided for separately.

Article 10 (Common educational and research institutions)

1. NAIST has the following common educational and research institutions:
 - (1) Information Technology Center

(2) Research and Education Center for Genetic Information

(3) Research and Education Center for Materials Science

(4) Research Center for Advanced Science and Technology

2. Matters relating to the common educational and research institutions shall be provided for separately.

Article 11 (Health Care Center)

1. NAIST has a Health Care Center.

2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

III. President, Vice President, Deans, etc.

Article 12 (Organization)

1. The organization of NAIST consists of the following members:

President

Vice President

Deans of respective Graduate Schools

Vice Deans of respective Graduate Schools

Director of NAIST Library

Directors of the common educational and research institutions

Director of Information Technology Center

Director of Research and Education Center for Genetic Information

Director of Research and Education Center for Materials Science

Director of Research Center for Advanced Science and Technology

Director of Health Care Center

Faculty members

General staff members

Other staff members

2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.

3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic staff.

Article 13 (President)

The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

Article 14 (Vice President)

The Vice President shall be responsible for supporting the President.

Article 15 (Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Deans shall be responsible for the administration of his or her Graduate School and the common educational and research institution associated therewith.

Article 16 (Vice Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Vice Deans shall be responsible for supporting the Dean of his or her Graduate School.

Article 17 (Director of NAIST Library)

The Director of the NAIST Library shall be responsible for administration of the Library.

Article 18 (Directors of the common educational and research institutions)

Directors of the common educational and research institutions shall be responsible for affairs at the respective common educational and research institutions.

Article 19 (Director of Health Care Center)

The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

IV. Faculty Council

Article 20 (Faculty Council)

1. Each of the Graduate Schools has a Faculty Council.
2. The Faculty Council of each Graduate School shall be responsible for discussing matters relating to:
 - (1) Arrangement of curriculum
 - (2) Admission of students
 - (3) Students taking a leave of absence
 - (4) Students studying abroad
 - (5) Students transferring to another school
 - (6) Students withdrawing from studies
 - (7) Awarding of degrees
 - (8) Academic performance of students
 - (9) Students' groups, activities, and campus life
 - (10) Rewards and punishments to students
 - (11) Research systems
 - (12) Research and educational programs of the common educational and research institutions that are closely associated with the research and educational purposes of the relevant Graduate School
 - (13) Self-inspection
 - (14) Other educational and research issues

3. Each of the Faculty Councils shall consist of full-time professors and associate professors engaged in educational or research activities of the relevant Graduate School. However, the Dean of the Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council if necessary.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.
5. The Dean of each of the Graduate Schools shall serve as chairman of the respective Faculty Council.
6. The Chairman of each of the Faculty Councils shall preside over the council's meetings.
7. In case the Chairman has become unable to serve his or her role, the Vice Dean shall act as the chairman on his or her behalf.
8. For the meetings and resolutions of the Faculty Councils to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.
9. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the chairman shall cast the deciding vote.
10. The Dean may invite individuals who are not members of the Faculty Council to attend the council's meeting if he deems it necessary to do so.

V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

Article 21 (Admission capacity and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of each of the Graduate Schools of NAIST shall be as shown in the attached Schedule.

VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the autumn semester.

Article 23 (Semesters)

The academic year specified in the foregoing article shall consist of:

- (1) Spring semester (from April 1 to September 30), and

(2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

Article 24 (Closed days)

1. NAIST shall be closed on the following days:

(1) Sunday and Saturday

(2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)

(3) Anniversary of the founding of NAIST (October 1)

(4) Spring, summer and winter holidays

2. Details about the spring, summer and winter holidays shown in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.

3. The President may designate a temporarily closed day if he deems it necessary to do so.

4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

VII. Admission

Article 25 (Applicant qualifications)

1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:

(1) Have graduated from university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)

(2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law

(3) Have completed a 16-year course of school education abroad

(4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located

(5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country

(6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)

(8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:

(a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years

(b) Individuals who have completed a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 156-1 (4), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(6) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in Paragraph 1 (10) and

Paragraph 2 (6), hereof shall be stipulated separately by respective Graduate Schools.

Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

Article 27 (Application for admission)

To apply for admission to NAIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIST.

Article 28 (Screening)

Applicants for admission to NAIST shall be screened by the procedures set forth separately.

Article 29 (Enrollment procedures and admission)

1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIST.
2. The President shall admit applicants to NAIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

Article 30 (Admission to Doctoral Course)

Admission of students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIST shall be subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

Article 31 (Standard terms of study)

The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

Article 32 (Maximum years of enrollment)

Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

IX. Education at Graduate Schools

Article 33 (Graduate school education)

Education at the Graduate Schools shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses ("Research Guidance").

Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)

The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said

courses, and registration procedures shall be provided for separately by each of the Graduate Schools.

Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

(1) Fifteen hours of lectures and seminars shall yield one credit.

(2) Thirty hours of experiments and practical work shall yield one credit.

(3) When a Graduate School employs a combination of two or more methods out of lectures, seminars, experiments, or practical work for a course, one credit shall consist of class hours determined by the Graduate School in light of the standards prescribed in the preceding two items, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. A Graduate School shall present to its students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. A Graduate School shall, when assessing its students' academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and methodology used to give classes and Research Guidance at its Graduate Schools.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

Article 37 (Studying in another Graduate School of NAIST)

1. Students may take a course offered by another Graduate School of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection may be counted toward degree credits specified in Article 35 to the extent permitted by their Graduate School.
3. Matters relating to taking of courses of other Graduate Schools shall be provided for separately.

Article 38 (Studying in another graduate school outside of NAIST)

1. Students may take a course offered by another graduate school outside of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.
3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

Article 38-2 (Approval of credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence)

1. Students may earn credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)

1. Credits that a student has earned at another graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Faculty Council of his or her Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.

3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

Article 40 (Research Guidance at another graduate school)

1. Students may receive Research Guidance offered by another graduate school or research institution outside of NAIST as needed, if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school or research institution. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.
2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.
3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

X. Course and Degree Requirements

Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)

1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects designated by their Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. For the purpose described in the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination if the Faculty Council of the Graduate School deems it appropriate to do so.

Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)

1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads "However, students who have

achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study” shall read “However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master’s Course at the shortest, instead of the standard term of study,” to apply to students who have completed the Master’s Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master’s course of another graduate school outside of NAIST taking between one and two years.

3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a master’s degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

Article 43 (Approval of completion)

Approval of completion of the Master’s Course and Doctoral Course shall be given by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 44 (Awarding of degrees)

1. Students who have completed the Master’s Course or Doctoral Course shall be awarded a master’s degree or doctoral degree, respectively.
2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIST.
3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

Article 45 (Timing of completion)

1. The Master’s Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master’s Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

Article 46 (Teaching qualifications)

1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher’s Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the

Teacher's Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).

2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate Schools of NAIST are as shown in the following table.

Graduate School	Department	Teaching qualification	Subject
Information Science	Information Science	High school teacher's qualification	Information
Biological Sciences	Biological Sciences	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science
Materials Science	Materials Science	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal

Article 47 (Leave of absence)

1. A student who must be absent from school for three consecutive months or longer due to illness, or for other reasons deemed justifiable by the President, may take a leave of absence with President's permission, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.
2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.
3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.
6. Notwithstanding the provision of subsections 4 and 5, a student may be given special permission to take a leave of absence if deemed appropriate by the President.
7. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.

Article 48 (Study abroad)

1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

Article 49 (Readmission)

1. An individual who withdrew or was expelled from NAIIST in the past and wishes to be readmitted in the Graduate School of NAIIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.

2. If readmission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 50 (Transfer from another school)

1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIIST and wishes to transfer to NAIIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIIST.

2. If transfer to NAIIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 51 (Transfer from another Graduate School)

1. A student who is enrolled in a Graduate School at NAIIST and wishes to transfer to another Graduate School at NAIIST may be permitted to do so by the Dean of the Graduate School to which he or she wishes to transfer, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with educational and research activities of the Graduate School.

2. If transfer to another Graduate School at NAIIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 52 (Transfer to another graduate school)

A NAIIST student who wishes to transfer to another graduate school outside of NAIIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

Article 53 (Withdrawal)

A NAIIST student who wishes to withdraw from NAIIST shall obtain permission of the President

in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

The amounts of the entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an application form and pay the entrance examination fee at the same time.

Article 56 (Payment of the admission fee)

Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.

Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to the provision of Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.
4. Notwithstanding the provisions of subsections 1 and 2 above, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.

Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)

In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission (“Re-enrollment”) during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee (“Monthly Fee”) multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)

In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)

1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.
2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)

In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion from NAIIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)

Students may be exempted from payment of all or part of the admission fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the admission fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 63

Students may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 64

Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)

1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.

(1) If a student who paid the tuition fee for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the provision of Article 57-3 above is to withdraw from NAIIST before the due date of tuition payment for the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester shall

be refunded.

(2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the provision of Article 57-4 above declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.

(3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.

(4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.

XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students

Article 66 (Special auditing students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIIST as special auditing students to take a course at the Graduate School of NAIIST, subject to consultation with the graduate school.

2. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

Article 67 (Special research students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIIST as special research students to receive Research Guidance at the Graduate School of NAIIST, subject to consultation with the graduate school.

2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

Article 68 (Non-degree students)

1. Individuals who are not NAIIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIIST may be admitted to NAIIST as non-degree students and awarded credits, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.

2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

Article 69 (Research students)

1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at the Graduate School of NAIIST may be admitted to NAIIST as research students, subject to screening by the Faculty

Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.

2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

Article 69-2 (Undergraduate internship students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another university (including foreign universities) or technical college may be admitted to NAIIST as undergraduate internship students to receive academic guidance in a NAIIST graduate school, subject to consultation with the graduate school.

2. Matters relating to undergraduate internship students shall be provided for separately.

XIV. Rewards, Punishments and Expulsion

Article 70 (Rewards and punishments)

1. The President may commend students who have done something worthy of public recognition.

2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIIST, following deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal, suspension from NAIIST, and warning.

Article 71 (Expulsion)

A student shall be expelled from NAIIST if he or she:

(1) Has been enrolled in NAIIST for longer than the period specified in Article 32.

(2) Has been on leave of absence for longer than the period specified in Article 47-4.

(3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.

(4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.

XV. Student Dormitories

Article 72 (Student dormitories)

1. NAIIST has student dormitories.

2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

XVI. Open Lectures

Article 73 (Open lectures)

1. NAIIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIIST as of March 31, 2004 (“Existing Students”) and also to the students who are readmitted or transferred to NAIIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master's Course	Doctoral Course	
Information Science	Information Science	135	40	390
Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	361
Materials Science	Materials Science	90	30	270
Total		350	107	1,021

奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規程

平成16年4月1日

規程第25号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16学則第1号。以下「学則」という。）第40条第4項及び第67条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）又は研究所等（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

(他の大学院等との協議)

第2条 学則第40条第1項及び第67条第1項の規定に基づく本学と他の大学院等との協議は、研究指導計画その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院等にあつては、やむを得ない場合に限り、当該大学院等との協議を欠くことができる。

第2章 特別研究派遣学生

(出願手続)

第3条 特別研究派遣学生として、他の大学院等において研究指導を受けようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 特別研究派遣学生申請書（様式第1号）
- (2) 他の大学院等の要求する書類

(派遣の許可)

第4条 前条の願い出があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(他の大学院等における研究指導の期間)

第5条 他の大学院等において研究指導を受ける期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程の学生にあつては、教育研究上有益と認められるときは、他の大学院等との協議に基づき、その期間を延長することができる。

- 2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることができない。

(在学期間の取扱い)

第6条 特別研究派遣学生として研究指導を受けた期間は、本学での在学期間に含めるものとする。

(研究報告書等の提出)

第7条 特別研究派遣学生は、他の大学院等における研究指導が終了したときは、直ちに（外国の大

学院又は研究所等において研究指導を受けた者にあつては、帰国の日から1月以内に)、当該研究科長に研究指導報告書(様式第2号)及び当該他の大学院等の交付する研究指導の概要を記載した報告書を提出しなければならない。

(研究指導の認定)

第8条 特別研究派遣学生が、他の大学院等において受けた研究指導は、前条に規定する報告書により、当該研究科の教授会の議に基づき、本学における課程修了に必要な研究指導の一部として認定することができる。

(授業料)

第9条 特別研究派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

(派遣許可の取消し)

第10条 特別研究派遣学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院等との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 当該他の大学院等の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他派遣の趣旨に反する行為があると認められるとき。

第3章 特別研究学生

(出願手続)

第11条 本学の特別研究学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別研究学生申請書(様式第3号)
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

(受入れの許可)

第12条 他の大学院から特別研究学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(受入れの期間)

第13条 他の大学院からの研究指導を受託する期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程に在籍する特別研究学生にあつては、研究の状況により、当該学生の所属する他の大学院からの申請に基づき、当該研究科の教授会の議を経て、その延長を許可することができる。

2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることはできない。

(研究指導状況報告書)

第14条 特別研究学生の研究指導を終了したときは、当該研究科長は、指導教員の報告に基づき、研究指導状況報告書(様式第4号)を交付する。

(学生証)

第15条 特別研究学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

(授業料等)

第16条 特別研究学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別研究学生が、国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別研究学生が、公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として月額29,700円を徴収する。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、研究指導を受ける期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究指導を受ける期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第17条 特別研究学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 本学の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他受入れの趣旨に反する行為があると認められるとき。

(準用)

第18条 学則その他学生に関する規定は、特別研究学生について準用する。

第4章 雑則

(雑則)

第19条 この規程に定めるもののほか、特別研究派遣学生及び特別研究学生の取扱いについては、当該他の大学院等との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日に在学する特別研究派遣学生又は特別研究学生のうち研究指導の期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

Regulations for Special Research Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 25

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to receive research guidance at another graduate school or research institution, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Research Students”) and students of an External Graduate School who wish to receive research guidance at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Research Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 40-4 and Article 67-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 40-1 and Article 67-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the research guidance program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

II. Special Research Students

Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to receiving permission from his or her main research instructor:

- (1) Special Research Student Application Form (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 5 (Period of research guidance at External Graduate School)

1. The period during which a Special Research Student receives research guidance at an External Graduate School shall be up to one year. In the case of a student enrolled in the Doctoral Course, however, the said period may be extended, subject to consultation with the External Graduate School, if doing so is deemed to be educationally beneficial.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in the case of a student enrolled in the Master's Course.

Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period during which a NAIST student receives research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

Article 7 (Submission of research report)

A Special Research Student shall submit a research report (Form No. 2) and report issued by the External Graduate School outlining the research guidance he or she has received to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of research guidance at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has received research guidance at a foreign graduate school or research institution).

Article 8 (Acceptance of research guidance)

The Research Guidance that a Special Research Student has received at an External Graduate School may be accepted as part of research guidance necessary for completing the course at NAIST, subject to submission of the reports specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 9 (Tuition fee)

Special Research Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

Article 10 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student, following consultation with the External Graduate School involved, if:

- (1) The research guidance is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of the External Graduate School or acted against the interests thereof; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Research Students Exchange Program.

III. Special Visiting Research Students

Article 11 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Research Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Special Visiting Research Student Application Form (Form No. 3)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

Article 12 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Research Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 13 (Period of research guidance at NAIST)

1. The period during which NAIST provides a Special Visiting Research Student with research guidance upon request from an External Graduate School shall be up to one year. In case of a Special Visiting Research Student enrolled in the Doctoral Course, however, extension of the said period may be permitted depending on the progress of the research, subject to deliberation by the Faculty Council of the Graduate School at NAIST, if requested by the External Graduate School.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in case of a student enrolled in the Master's Course.

Article 14 (Research guidance report)

Upon completion of research guidance to a Special Visiting Research Student, the Dean of the Graduate School shall issue a Research Guidance Report (Form No. 4) based on the report submitted by the research instructor.

Article 15 (Student ID card)

A Special Visiting Research Student shall be issued with a student ID card and carry it at all times.

Article 16 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Research Student shall be exempted from payment of screening and admission fees.
2. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fee for the research guidance provided by NAIST.
3. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for the research guidance provided by NAIST in the monthly amount of 29,700 yen, provided, however, that this provision shall not apply if waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

Article 17 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at NAIST as a Special Visiting Research Student, following consultation with the graduate school of the student, if:

- (1) The research guidance program is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of NAIST or acted against the interests of NAIST; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Visiting Research Student program.

Article 18 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Research Students.

IV. Miscellaneous Provision

Article 19 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Research Students and Special Visiting Research Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for the Special Research Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Research Students and Special Visiting Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research guidance ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程

平成16年4月1日

規程第24号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第38条第4項及び第66条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

(他の大学院との協議)

第2条 学則第38条第1項及び第66条第1項の規定に基づく本学と他の大学院との協議は、履修できる授業科目の範囲その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院にあっては、やむを得ない場合に限り、当該大学院との協議を欠くことができる。

第2章 特別聴講派遣学生

(出願手続)

第3条 特別聴講派遣学生として、他の大学院の授業科目を履修しようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 他の大学院における履修願（様式第1号）
- (2) 他の大学院の要求する書類

(派遣の許可)

第4条 前条の願い出があったときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(他の大学院における履修期間)

第5条 特別聴講派遣学生の履修期間は、原則として1年以内とする。

(在学期間の取扱い)

第6条 特別聴講派遣学生としての履修期間は、本学での在学期間を含めるものとする。

(履修できる授業科目)

第7条 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

(学業成績証明書の提出)

第8条 特別聴講派遣学生は、履修が終了したときは、直ちに（外国の大学院において授業科目を履修した特別聴講派遣学生にあつては、帰国の日から1月以内に）、当該研究科長に当該他の大学院の交付する学業成績証明書を提出しなければならない。

（単位の認定）

第9条 特別聴講派遣学生が他の大学院において修得した単位は、前条に規定する学業成績証明書により、10単位を超えない範囲で、当該研究科の教授会の議を経た上、本学において修得したものと認定する。

（授業料）

第10条 特別聴講派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

（派遣許可の取消し）

第11条 特別聴講派遣学生の行為が派遣の趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

第3章 特別聴講学生

（出願手続）

第12条 本学の特別聴講学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

（1）特別聴講学生申請書（様式第2号）

（2）受入れ研究科の必要とする書類

（受入れの許可）

第13条 他の大学院から特別聴講学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

（受入れ期間）

第14条 特別聴講学生の受入れの期間は、原則として1年以内とする。

（履修できる授業科目）

第15条 特別聴講学生が本学で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講学生が本学で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

（学業成績証明書の交付）

第16条 特別聴講学生が所定の授業科目の履修を終了したときは、当該研究科長は、学業成績証明書を交付するものとする。

（学生証）

第17条 特別聴講学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

（授業料等）

第18条 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別聴講学生が国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別聴講学生が公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として1単位当たり14,800円とする。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第19条 特別聴講学生の行為が受入れの趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

(準用)

第20条 学則その他学生に関する規定は、特別聴講学生について準用する。

第4章 雑則

(雑則)

第21条 この規程に定めるもののほか、特別聴講派遣学生及び特別聴講学生の取扱いについては、当該他の大学院との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日に在学する特別聴講派遣学生又は特別聴講学生のうち履修期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 24

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to study specific subjects for credit at another graduate school, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Auditing Students”) and students of an External Graduate School who wish to study specific subjects for credit at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Auditing Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 38-4 and Article 66-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 38-1 and Article 66-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the subjects to be offered under the Special Auditing Students Exchange Program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

II. Special Auditing Students

Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to study specific subjects at an External Graduate School as a Special Auditing Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to permission of his or her main research instructor:

- (1) Application Form for Study at External Graduate School (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 5 (Period of study at External Graduate School)

In principle, the period during which Special Auditing Students may study at an External Graduate School shall be up to one year.

Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period for Special Auditing Students to study at an External Graduate School shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

Article 7 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Auditing Students are allowed to study at an External Graduate School shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at an External Graduate School.

Article 8 (Submission of certificate of academic record)

A Special Auditing Student shall submit a certificate of academic record issued by the External Graduate School to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of the study at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has studied at a foreign graduate school).

Article 9 (Awarding of credits)

As for credits that a Special Auditing Student has earned while studying at an External Graduate School, up to ten such credits may be treated as credits earned at NAIST, subject to submission of the certificate of academic record specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the Graduate School involved.

Article 10 (Tuition fee)

Special Auditing Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

Article 11 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at an External Graduate School as a Special Auditing Student, following consultation with the External

Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

III. Special Visiting Auditing Students

Article 12 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Application Form for Study at NAIST as Special Visiting Auditing Student (Form No. 2)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

Article 13 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Auditing Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School of NAIST shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 14 (Period of study at NAIST)

In principle, the period during which Special Visiting Auditing Students may study at NAIST shall be up to one year.

Article 15 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Visiting Auditing Students are allowed to study at NAIST shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at NAIST.

Article 16 (Issuance of a certificate of academic record)

Upon completion of study by a Special Visiting Auditing Student at NAIST, the Dean of the Graduate School involved shall issue a certificate of academic record to the student.

Article 17 (Student ID card)

A Special Visiting Auditing Student shall be issued with a student ID card and shall carry it at all times.

Article 18 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Auditing Student shall be exempted from payment of screening and

admission fees.

2. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fees for studying at NAIST.
3. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for studying at NAIST in the amount of 14,800 yen per credit, provided, however, that this provision does not apply if a waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. The tuition fee specified in the foregoing subsection shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

Article 19 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student, following consultation with the External Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

Article 20 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Auditing Students.

IV. Miscellaneous Provision

Article 21 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose study at an External Graduate School or NAIST, respectively,

ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

奈良先端科学技術大学院大学研究生規程

平成16年4月1日

規程第27号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第69条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における研究生に関し必要な事項を定める。

(許可)

第2条 研究生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

(入学資格)

第3条 研究生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

(出願手続)

第4条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願出しなければならない。

(1) 研究生入学願書(所定様式)

(2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書

(3) 写真2枚

2 会社等(官公庁を含む。以下同じ。)に在職している者にあつては、前項に規定する書類のほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 個人的研究のため研究生を志願する者である旨の本人の確約書

(2) 会社等の事業目的のために派遣する者ではない旨の所属長の確約書

3 外国人にあつては、前2項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、国内に在留していない者は、入学後提出するものとする。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(研究期間)

第6条 研究期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由により引き続き研究を願出た者については、当該研究科の教授会の議を経て研究期間を延長することができる。

(研究)

第7条 研究生は、指導教員のもとで、研究に従事するものとする。

(研究証明書の交付)

第8条 研究事項について、研究証明書を必要とするときは、これを交付する。

(授業料等)

第9条 研究生の検定料、入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は、次のとおりとする。

検定料 9,800 円

入学料 84,600 円

授業料 29,700 円（月額）

2 前項の授業料は、研究予定期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究予定期間が6月未満であるときは、その期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとする。

3 納付した授業料等は返還しない。

(退学)

第10条 研究生が研究期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

(準用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、研究生について準用する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

附則**(施行期日)**

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成16年3月31日に在学する研究生のうち研究期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学研究生規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

Regulations for Research Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 27

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to research students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Research Students”) pursuant to the provision of Article 69-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Research Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Research Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Research Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
 - (1) Application Form for Admission to NAIST as Research Student (prescribed form)
 - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
 - (3) Two photographs
2. If an employee of a company or governmental agency (“Company”) applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit the following documents in addition to the documents specified in the foregoing subsection:
 - (1) Written confirmation of the applicant that he or she is applying for admission to NAIST as a Research Student for the exclusive purpose of pursuing personal research interests
 - (2) Written confirmation of the immediate supervisor of the applicant at the Company that the applicant is to study at NAIST as a Research Student, and not for the purpose of the Company

3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the foregoing subsections, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

Article 5 (Timing of admission)

Research Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester, provided, however, that this provision does not apply if there is a justifiable reason.

Article 6 (Period of research at NAIST)

The period for which Research Students can conduct research at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Research Student applies for an extension thereof with a justifiable reason.

Article 7 (Research at NAIST)

Research Students shall engage in research at NAIST under the guidance of their research instructor.

Article 8 (Issuance of research certificate)

NAIST shall issue a research certificate concerning research matters as needed.

Article 9 (Tuition and other fees)

1. Research Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.
Screening fee: 9,800 yen
Admission fee: 84,600 yen
Tuition fee: 29,700 yen per month
2. If a Research Student conducts research at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Research Student conducts research at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
3. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

Article 10 (Withdrawal)

A Research Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate School for withdrawal status and obtain permission from the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Research Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Research Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Research Students of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research at NAIST ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

奈良先端科学技術大学院大学科目等履修生規程

平成16年4月1日

規程第26号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第68条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における科目等履修生に関し必要な事項を定める。

(許可)

第2条 科目等履修生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

(入学資格)

第3条 科目等履修生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めたとする。

(出願手続)

第4条 科目等履修生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願出しなければならない。

(1) 科目等履修生入学願書(所定様式)

(2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書

(3) 写真2枚

2 他の大学院、外国の大学院、民間企業、研究機関等と連携し実施する教育プログラム(以下「連携教育プログラム」という。)の授業科目の履修に係る検定料について、学長が徴収しないことが適当であると認められた場合は、前項の規定にかかわらず、当該検定料を徴収しない。

3 外国人にあっては、前項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、願出の時に国内に在留していない者は、入学後に提出するものとする。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。

(在学期間)

第6条 在学期間は、1年以内とする。ただし、本人の願出があった場合は、当該研究科の教授会の議を経て1年に限り在学期間を延長することができる。

(履修科目等)

第7条 科目等履修生が履修できる授業科目は、原則として講義によって行う科目のみとする。

(単位修得証明書の交付)

第8条 履修科目について、単位修得証明書を必要とするときは、これを交付する。

(授業料等)

第9条 科目等履修生の検定料、入学料及び授業料(以下「授業料等」という。)の額は、次のとおり

とする。

検定料 9,800 円

入学料 28,200 円

授業料 14,800 円 (1 単位当たり)

- 2 入学料は、所定の期日までに納付しなければならない。
- 3 授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付しなければならない。
- 4 連携教育プログラムの授業科目の履修に係る入学料及び授業料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前2項の規定にかかわらず、当該入学料及び授業料を徴収しない。
- 5 納付した授業料等は、返還しない。

(退 学)

第10条 科目等履修生が在学期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

(準 用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、科目等履修生について準用する。

(雑 則)

第12条 この規程に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

Regulations for Non-Degree Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 26

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to non-degree students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Non-Degree Students”) pursuant to the provision of Article 68-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Non-Degree Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Non-Degree Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Non-Degree Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
 - (1) Application Form for Admission to NAIST as Non-Degree Student (prescribed form)
 - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
 - (3) Two photographs
2. Screening fee for taking courses of the collaboration program with other universities’ graduate schools, foreign graduate schools, private corporations, and research institutes (“Collaborative Educational Program”) shall be exempted, regardless of the foregoing subsection, provided that president approves the exemption appropriate.
3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Non-Degree Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the subsection 1 of this Article, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be

submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

Article 5 (Timing of admission)

Non-Degree Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

Article 6 (Period of enrollment)

The period for Non-Degree Students to study at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to one additional year, subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Non-Degree Student applies for extension thereof.

Article 7 (Subjects)

In principle, the subjects that Non-Degree Students are allowed to study at NAIST for credits shall be limited to those offered by means of lecture.

Article 8 (Issuance of certificate of credits earned)

NAIST shall issue a certificate of credits earned for the relevant subjects as needed.

Article 9 (Tuition and other fees)

1. Non-Degree Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.

Screening fee: 9,800 yen

Admission fee: 28,200 yen

Tuition fee: 14,800 yen per credit

2. Screening fee shall be paid by prescribed due date.

3. The tuition fee shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.

4. The Admission fee and tuition fee for taking courses of Collaborative Educational Program shall be exempted, regardless of the foregoing subsection 2, provided that president approves the exemption appropriate.

5. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

Article 10 (Withdrawal)

A Non-Degree Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate

School for withdrawal and obtain the permission of the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Non-Degree Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Non-Degree Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

奈良先端科学技術大学院大学特別学修生規程

平成26年11月27日
規程 2 号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第69条の2第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）における特別学修生に関し必要な事項を定める。

(他大学等との協議)

第2条 学則第69条の2第1項の規定に基づく本学と他の大学（外国の大学を含む。）又は高等専門学校（以下「他大学等」という。）との協議は、学修指導計画その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学にあっては、やむを得ない場合に限り、当該他大学等との協議を欠くことができる。

(出願手続)

第3条 本学の特別学修生を志願する者は、他大学等を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別学修生申請書（様式第1号）
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

(受入れの許可)

第4条 他大学等から特別学修生の受入れの依頼があったときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、月の初めとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(受入れの期間)

第6条 他大学等からの学修指導を受託する期間は、1月以上1年以内とする。

(学修指導状況報告書)

第7条 特別学修生の学修指導を終了したときは、当該研究科長は、指導教員の報告に基づき、学修指導状況報告書（様式第2号）を交付する。

(学生証)

第8条 特別学修生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

(授業料等)

第9条 特別学修生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別学修生に係る授業料は、月額29,700円を徴収する。ただし、他大学等との協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 3 前項の規定にかかわらず、学長が特に認める場合、授業料を徴収しないことができる。
- 4 第2項の授業料は、学修指導を受ける期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、学修指導を受ける期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第10条 特別学修生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他大学等との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

- (1) 学修指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 本学の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他受入れの趣旨に反する行為があると認められるとき。

(準用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、特別学修生について準用する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、特別学修生の取扱いについては、当該他大学等との協議の上、決定するものとする。

附 則

この規程は、平成26年12月1日から施行し、平成27年度入学者（入学志願者を含む。）から適用する。

Regulations for Undergraduate Internship Students of Nara Institute of Science and Technology

November 27, 2014
Regulations No. 2

Article 1 (Purpose)

These rules explain the necessary provisions regarding visiting students at the Nara Institute of Science and Technology (hereinafter “this university”) on the basis of Article 69.2.2 of the school regulations of Nara Institute of Science and Technology (school regulations No. 1 established in 2004, hereinafter “school regulations”).

Article 2 (Consultations with partner schools)

Consultations between this university and another university (including foreign universities) or technical college (hereinafter “partner school”), as stipulated in Article 69.2.2 of the school regulations, shall be held by the dean of the graduate school concerned following deliberation on the academic supervision plan and other related items in the faculty meeting of the same graduate school. However, consultations with the partner school concerned may be omitted in the case that a university is located abroad and an unavoidable reason exists.

Article 3 (Application procedures)

Those applying for visiting student status at this university shall submit the following documents via the partner school.

- (1) Application form for visiting students (format No. 1)
- (2) Documents required by the receiving graduate school

Article 4 (Permission of Acceptance)

When a partner school requests the dean of the graduate school concerned to accept visiting students, he or she shall consider the results of the deliberations described in Article 2 in order to determine whether to approve the request.

Article 5 (Timing of admission)

Visiting students are admitted at the beginning of the month. However, this can be adjusted if there are exceptional circumstances.

Article 6 (Period of acceptance)

Students from partner schools can be enrolled under these regulations for a minimum of one month and up to a year.

Article 7 (Report on the progress of enrollment)

When a visiting student finishes his or her enrollment, the dean of the graduate school

concerned shall deliver a report on the results of the enrollment (format No. 2) based on reports by the visiting student's research supervisor.

Article 8 (Student ID card)

Visiting students shall be given a designated student card and shall carry it with them at all times.

Article 9 (Tuition fee)

1. The admission test fee and the enrollment fee are not required for visiting students.
2. Monthly tuition of 29,700 yen shall be paid by the visiting student. However, the tuition shall not be required if a tuition waiver has been agreed upon in the framework of an agreement with the partner school.
3. Notwithstanding the provision in the section above, tuition may be exempted if the dean finds it particularly necessary.
4. If the visiting student enrolls for greater than six months, the tuition as prescribed in section 2 shall be paid in two separate installments, the first six months and the remaining period, and shall be paid in full during the first month of each period. If the enrollment is less than six months, the corresponding amount of tuition shall be paid during the first month of enrollment.
5. Once paid, tuition is not refundable.

Article 10 (Withdrawal of permission)

If the visiting student falls under any of the following categories, the dean of the graduate school concerned may revoke the acceptance in consultation with the partner school concerned.

- (1) He or she is not likely to complete the academic supervision plan.
- (2) He or she has violated the rules of this university, or it has been confirmed that he or she has committed an act that is unfit for a student.
- (3) It has been confirmed that he or she has committed an act that is generally in conflict with the purpose of acceptance.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

In principle, all school regulations, as well as other rules regarding students, apply to visiting students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

In addition to the present rules, the handling of visiting students shall be determined in consultation with the partner schools concerned.

Supplementary provision

The present rules shall be in force from December 1, 2014 and shall apply to those admitted in the academic year 2015 and later (including applicants).

奈良先端科学技術大学院大学学生表彰規程

平成16年12月7日

規程第89号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第70条の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生（学生団体を含む。）の表彰に関し必要な事項を定める。

(表彰の基準)

第2条 表彰は、次の各号のいずれかに該当する者に行うことができる。

- (1) 学業において、研鑽に励み、他の学生の模範となった者
- (2) 学術研究活動において、特に優れた成果を挙げた者
- (3) 社会活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (4) 課外活動その他の活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (5) その他表彰に値する行為等があったと認められる者

2 前項に規定する者には、表彰の時点において、死亡等の者を含むものとする。

(表彰候補者の推薦)

第3条 役員又は研究科長は、前条に該当すると認められる者がある場合は、推薦書（別紙様式第1号）を、学長に提出するものとする。

(表彰者の決定)

第4条 学長は、前条の推薦に基づき、表彰者を決定する。

(表彰の方法)

第5条 学長は、前条の表彰者を決定したときは、表彰状（別紙様式第2号）を授与する。

2 学長は、前項の表彰状に添えて、記念品等を贈呈することができる。

(表彰の時期)

第6条 表彰の時期は、学位記授与式又は当該表彰の内容を勘案し、学長が決定する。

(事務)

第7条 学生の表彰に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年12月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月15日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年7月26日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

Regulations for Student Commendation of Nara Institute of Science and Technology

December 7, 2004
Regulations No. 89

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to commendation of performance worthy of public recognition that has been achieved by students (including groups of students) of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to the provision of Article 70 of the NAIST Regulations.

Article 2 (Commendation criteria)

1. NAIST shall commend students for:

- (1) Hard work in academic studies that sets a good example for other students;
- (2) Remarkable performance achieved in academic and research activities;
- (3) Remarkable performance achieved in social activities;
- (4) Remarkable performance achieved in extracurricular and other activities; or
- (5) Other conduct judged to be worthy of public recognition.

2. Students to be commended pursuant to the foregoing subsection shall include those who are dead at the time of commendation.

Article 3 (Nomination)

Administrative staff or the Dean of the relevant Graduate School shall submit a letter of nomination (Form No. 1 attached hereto) to the President to recommend a student who is deemed to meet any of the commendation criteria specified in the foregoing subsection for commendation.

Article 4 (Decision on commendation of student)

The President shall decide whether to commend the student based on the nomination specified in the foregoing article.

Article 5 (Commendation)

1. The President shall award a certificate of commendation (Form No. 2 attached hereto) to the student whom it was decided should be commended pursuant to the provision of the foregoing article.
2. The President may present a commemorative gift to the student in addition to the certificate of commendation specified in the foregoing subsection.

Article 6 (Timing of commendation)

The President shall determine the timing of commendation, in consideration of the timing of the degree conferring ceremony or the nature of the commendation.

Article 7 (Clerical work)

The Student Affairs Division of the Education and Research Support Department shall be responsible for handling clerical work necessary for student commendations.

Article 8 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to student commendations shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 7, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 15, 2006 and be retrospectively applied from April 1, 2006.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on July 26, 2007 and be retrospectively applied from April 1, 2007.

奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度規程

平成22年9月21日
規程第4号

(目的)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生のうち、特に優秀な学生を奨励・支援することにより、優れた人材の養成に資することを目的とする奨学制度に関し、必要な事項を定める。

(名称)

第2条 奨学制度の名称は、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度とする。

(奨学対象者)

第3条 奨学制度の対象者（以下「奨学対象者」という。）は、奨学対象者を決定する年度（以下「当該年度」という。）に本学の博士後期課程1年次に在籍する学生で、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れた者とする。ただし、国費外国人留学生及び奈良先端科学技術大学院大学留学生特別支援制度に採用された者を除くものとする。

(奨学対象枠)

第4条 奨学制度の対象枠は、毎年度15名以内とする。

(奨学の方法)

第5条 奨学支援の方法は、当該年度の授業料の全額免除の方法とする。

(奨学対象者の決定時期)

第6条 奨学対象者を決定する時期は、4月とする。

(奨学対象候補者推薦枠の通知)

第7条 学長は、研究科ごとに奨学対象者の候補者（以下「奨学対象候補者」という。）の推薦枠を決定し、あらかじめ、研究科長に通知する。

(奨学対象候補者の決定)

第8条 研究科長は、奨学対象候補者を選考するための基準（以下「選考基準」という。）を定め、推薦枠とともに学内に公表し、奨学対象候補者を公募する。

2 研究科長は、前項の選考基準に基づき、応募者のうちから奨学対象候補者を決定し、選考基準と推薦順位を添えて、学長に推薦する。

(奨学対象者の選考)

第9条 学長は、研究科長の推薦に基づき奨学対象者の選考を行うため、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学長が指名する理事
- (3) 学長が指名する副学長
- (4) 各研究科長

3 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

4 委員長は、委員会を主宰する。

- 5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めるときは、第2項に規定する委員以外を出席させることができる。

(奨学対象者の決定)

第10条 学長は、委員会の選考に基づき、奨学対象者を決定する。

- 2 学長は、各研究科長に選考結果を通知するとともに、学内に選考結果を公表する。

(表彰及び報告会)

第11条 学長は、奨学対象者を表彰し、奨学対象者による報告会を開催する。

(事務)

第12条 奨学制度に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、奨学制度に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成22年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成22年度に限り、奨学支援の方法は、第5条の規定に関わらず、当該年度の授業料の半額免除の方法とし、奨学対象者を決定する時期は、第6条の規定に関わらず、10月とする。

Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program

September 21, 2010

Regulations No. 4

Article 1 (Objective)

These regulations provide for necessary matters regarding the scholarship program that is intended to help develop excellent human resources by giving incentives to and supporting excellent students of Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “NAIST”).

Article 2 (Name)

The name of the scholarship program shall be the NAIST Excellent Student Scholarship Program.

Article 3 (Qualified students)

Students qualified to receive scholarships under the scholarship program (hereinafter referred to as “qualified students”) shall be students who are enrolled in the first year of a doctoral course at NAIST in an academic year in which qualified students are selected (hereinafter referred to as “the academic year”) and whose academic performance is outstanding and whose character is excellent, excluding foreign students financed by the Japanese government and those selected for the NAIST International Scholar Program.

Article 4 (Maximum number of qualified students)

The maximum number of qualified students shall be 15 in each academic year.

Article 5 (Method of scholarship support)

The scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of all tuition fees for the academic year.

Article 6 (Timing of selecting qualified students)

Qualified students shall be selected in April.

Article 7 (Notification of the number of scholarship candidates subject to recommendation)

The President shall set the number of candidates for qualified students (hereinafter referred to as “scholarship candidates”) subject to recommendation for each graduate school and notify the deans in advance.

Article 8 (Selection of scholarship candidates)

1. The deans shall set the criteria for screening scholarship candidates (hereinafter referred to as “the screening criteria”), announce on campus the screening criteria together with the number of candidates for qualified students, and solicit applications for scholarship candidates.
2. The deans shall select scholarship candidates from among the applicants based on the screening criteria set forth in the preceding paragraph, and recommend the scholarship candidates to the President, also providing the screening criteria and the order of recommendation.

Article 9 (Screening of qualified students)

1. The President shall set up a NAIIST Excellent Student Screening Committee (hereinafter referred to as “the Committee”) to screen qualified students based on the deans’ recommendations.
2. The Committee shall consist of the following members:
 - (1) President
 - (2) Executive Director appointed by the President
 - (3) Vice President appointed by the President
 - (4) Deans
3. The Committee shall have a chairperson, who shall be the President.
4. The chairperson shall preside over the meetings of the Committee.
5. If the chairperson becomes unable to serve, a Committee member appointed by the chairperson in advance shall perform the duties of the chairperson.
6. If the chairperson finds it to be necessary, individuals other than Committee members set forth in Paragraph 2 shall be allowed to attend the Committee meetings.

Article 10 (Selection of qualified students)

1. The President shall select qualified students based on screening by the Committee.
2. The President shall notify the deans of the screening results, and announce the screening results on campus.

Article 11 (Commendation and presentation session)

The President shall commend qualified students, and shall host a presentation session by the qualified students.

Article 12 (Clerical work)

Clerical work regarding the scholarship program shall be undertaken by the Student Affairs Division of the Academic Affairs Department.

Article 13 (Miscellaneous provisions)

In addition to the matters provided for in these regulations, necessary matters concerning the scholarship program shall be provided for separately.

Supplementary provisions

1 (Effective date)

These regulations shall come into effect on October 1, 2010.

2 (Transitional measures)

For academic year 2010 alone, the scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of half the tuition fees for the academic year regardless of the provisions of Article 5, and qualified students shall be selected in October regardless of the provisions of Article 6.

奈良先端科学技術大学院大学 学歌

作曲：古川 聖

若々しく ♩ = 116

mp

かす がやま ずい うんなびき あけ ほののそら のはるけさ
 とみ おがわ たゆ ることなく せせ らぎのひかど りはながる
 いこ まやま ゆう こえみれば なに わづにつ うももふね

mp

ちの もりの さい せんたんへ どく そうのせい ふう を おくめ
 さか りゆく みら のそらへ えい えんのしんり を しめ
 じょう ほうは こ にあつま せん たんのえい ち を つな

mp

る なら せ なんとん かがく ぎじゅつ たいがく いん たか き り そち
 す なら せ なんとん かがく ぎじゅつ たいがく いん たか が や く な
 ぐ なら せ なんとん かがく ぎじゅつ たいがく いん たか あ ら た く な

mp

—(う)の きざ は し の ほ る
 せいの きざ は し の ほ る
 だいの きざ は し の ほ る

奈良先端科学技術大学院大学学歌

- 一、春日山 瑞雲なびき
 あげぼのの 空の遙けさ
 知の森の 最先端へ
 独創の 清風を送る
 奈良先端科学技術大学院
 高き理想の階のぼる
- 二、富雄川 絶ゆることなく
 せせらぎの 光は流る
 盛りゆく 未来の蒼天へ
 永遠の 真理を示す
 奈良先端科学技術大学院
 輝く知性の階のぼる
- 三、生駒山 夕越え見れば
 難波津に 集う百船
 情報は 平城に集まり
 先端の 叡知を繋ぐ
 奈良先端科学技術大学院
 新たな時代の階のぼる

原作：岡部 剛機

